

## II. 調査結果（詳細）



#### 報告書のみかた

- (1) 百分率（％）は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示した。  
1 つだけ回答を求める設問（単純回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が 100%にならない場合がある。
- (2) 1 人の対象者に 2 つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（％）の合計は、100%を超える場合がある。
- (3) 図中の「N」は集計対象者（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。

## Ⅱ. 調査結果（詳細）

### 1. 放射線や原子力災害に対する知識・関心

#### (1) 放射線に対する関心について

問 1-1 あなたは、日常において、市内の放射線量を気にしていますか。（○は1つだけ）

##### 【全体】

全体で見ると、「気にしていない」が72.1%で「気にしている」が27.9%となっている。

##### 【性別】

男女別に見ると、「気にしていない」は、男性が74.7%、女性は69.9%となっており、男女とも約7割を占めている。

##### 【年代別】

年代別に見ると、「気にしていない」は、20歳代が86.5%と最も高くなっている。また、40歳代以上では、年齢の増加に伴って「気にしていない」の割合が低くなっている。

##### 【住居別】

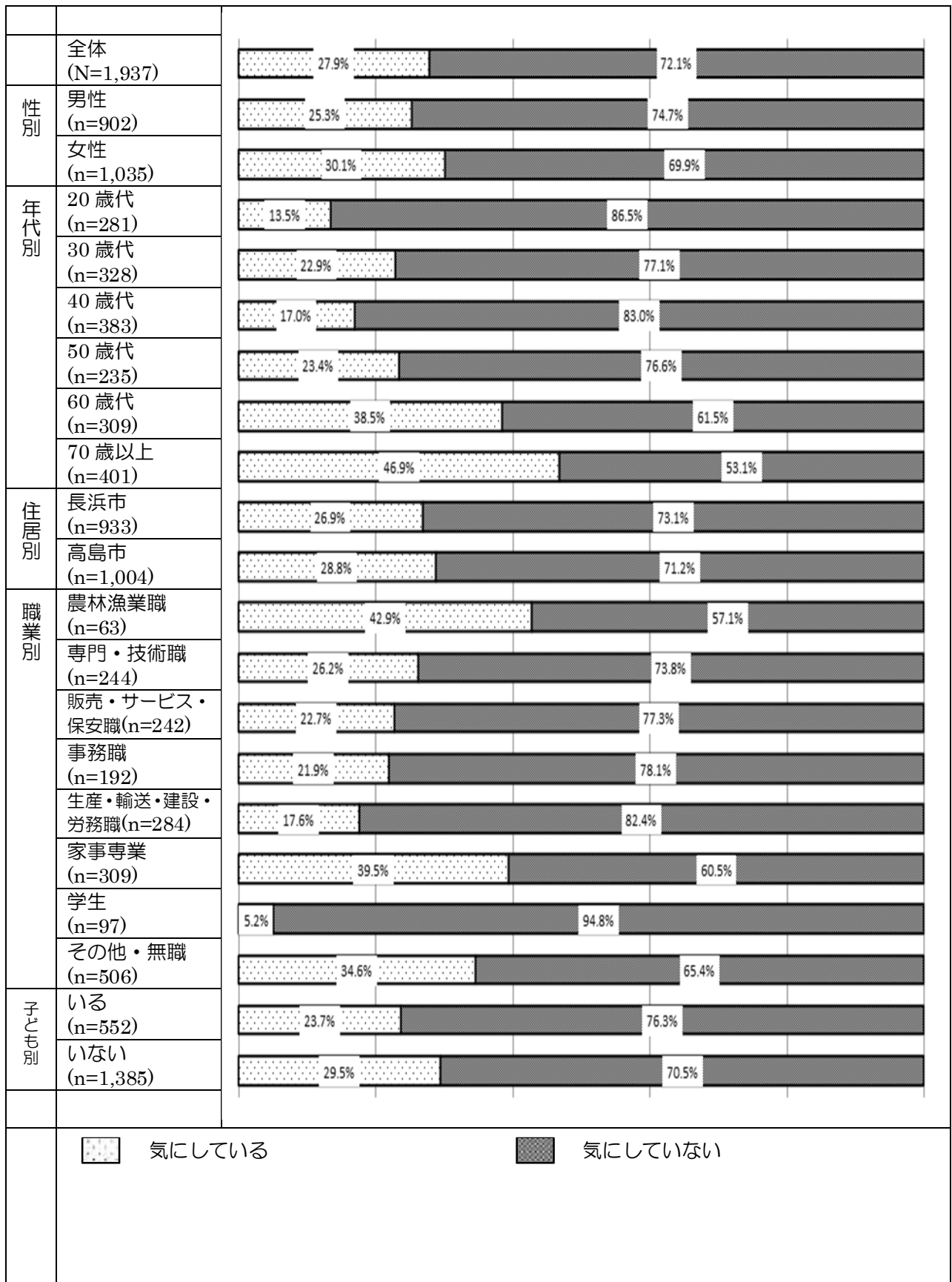
住居別に見ると、「気にしていない」は、長浜市が73.1%、高島市が71.2%となっており、両市とも7割を占めている。

##### 【職業別】

職業別に見ると、「気にしていない」は、学生が94.8%と最も高く、次いで生産・輸送・建設・労務職が82.4%と続いている。一方で、農林漁業職は57.1%、家事専業は60.5%と住んでいる場所で活動される方は、「気にしていない」の割合が低くなっていることがうかがえる。

##### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、「気にしていない」は、子どもがいる方が76.3%、いない方が70.5%となっており、子どもの有無に関係なく、ともに7割を上回っている。



(2)原子力災害に対する関心について

問 1-2 あなたは、日常において、原子力災害の発生を気にしていますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「気にしている」が59.6%で「気にしていない」が40.4%となっており、「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。

【性別】

男女別に見ると、「気にしている」は、男性が57.5%、女性は61.4%となっており、男女とも「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。

【年代別】

年代別に見ると、20歳代は「気にしていない」が60.9%、「気にしている」が39.1%となっている。それ以外の年代の方は「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。特に70歳以上については「気にしている」が73.3%、60歳代が71.8%となっており、年齢が高くなるほど「気にしている」の回答割合が高くなっている。

【住居別】

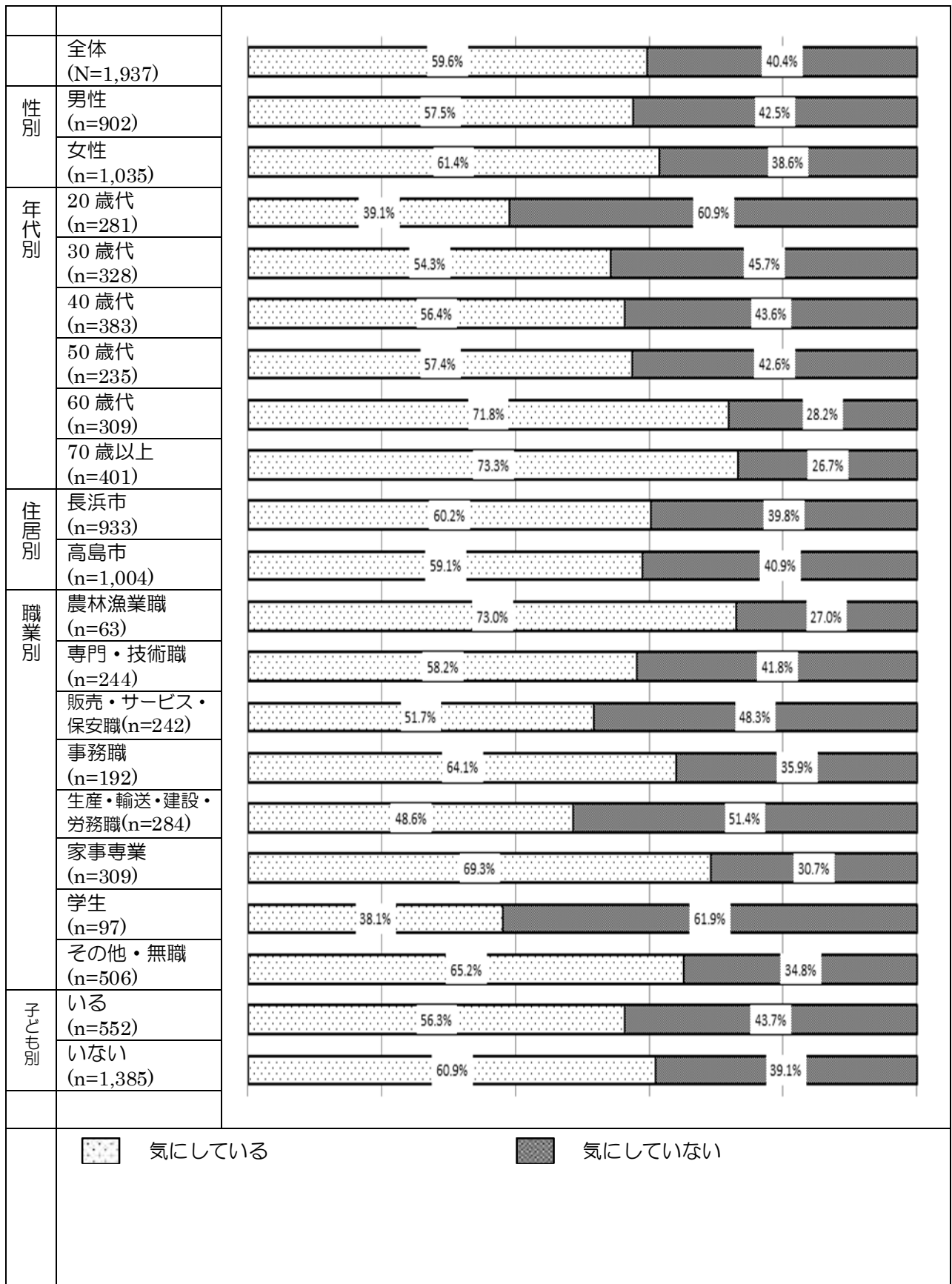
住居別に見ると、「気にしている」は、長浜市が60.2%、高島市は59.1%となっており、両市とも「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。

【職業別】

職業別に見ると、学生は「気にしていない」が61.9%、生産・輸送・建設・労務職は51.4%と「気にしていない」が「気にしている」を上回っている。それ以外の職業の方は「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。特に農林漁業職は「気にしている」が73.0%、家事専業が69.3%と「気にしている」の回答割合が高くなっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、「気にしている」は、子どものいる方が56.3%、いない方が60.9%となっており、子どもの有無に関係なく、ともに「気にしている」が「気にしていない」を上回っている。



(3) 福島第一原子力発電所の事故について

問 1-3 あなたは、福島第一原子力発電所で事故が起こったことを知っていますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「知っている」が98.8%、「知らない」が1.2%となっている。

【性別】

男女別に見ると、「知っている」は、男性が98.9%、女性は98.7%となっている。

【年代別】

年代別に見ると、どの年代も97%以上の方が「知っている」の回答だが、20歳代の2.5%の方が「知らない」と回答している。

【住居別】

住居別に見ると、「知っている」は、長浜市が98.7%、高島市が98.9%であった。また、「知らない」は、長浜市が1.3%、高島市が1.1%であった。

【職業別】

職業別に見ると、農林漁業職と事務職については「知っている」が100%となっている。その他の職業では0.4%~2.1%の方が「知らない」と回答している。

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、「知っている」は子どものいる方が98.6%、いない方が98.9%となっている。





(4)隣接する若狭地方の原子炉について

問 1-4 滋賀県に隣接する若狭地方に、何基原子炉が立地しているか知っていますか。あてはまるものを以下の項目から選んでください。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「わからない」が36.3%で最も高く、「5基」が28.6%、「10基」が17.7%、「15基」が17.1%と続いている。

「5基」が多いのは、質問である何基(炉数)が立地(場所)と混同されていると思われる。ちなみに、現在若狭地方には運転完了を含め、日本原子力研究開発機構の“もんじゅ”と“ふげん”の2基、敦賀発電所(日本原子力発電：2基)、美浜発電所(関西電力：3基)、大飯発電所(関西電力：4基)、高浜発電所(関西電力：4基)で、15基となっている。

【性別】

男女別で見ると、男性は「5基」が28.3%で最も高く、「わからない」が27.1%、「10基」が22.3%、「15基」が22.2%となっている。女性は「わからない」が44.4%で最も高く、「5基」が28.9%、「10基」が13.7%、「15基」が12.8%となっている。

【年代別】

年代別で見ると、60歳代を除いて「わからない」が20歳代(47.0%)、30歳代(41.8%)、40歳代(36.0%)、50歳代(33.6%)、70歳以上(36.7%)で一番高い。60歳代のみ「5基」が30.7%で一番高くなっている。

【住居別】

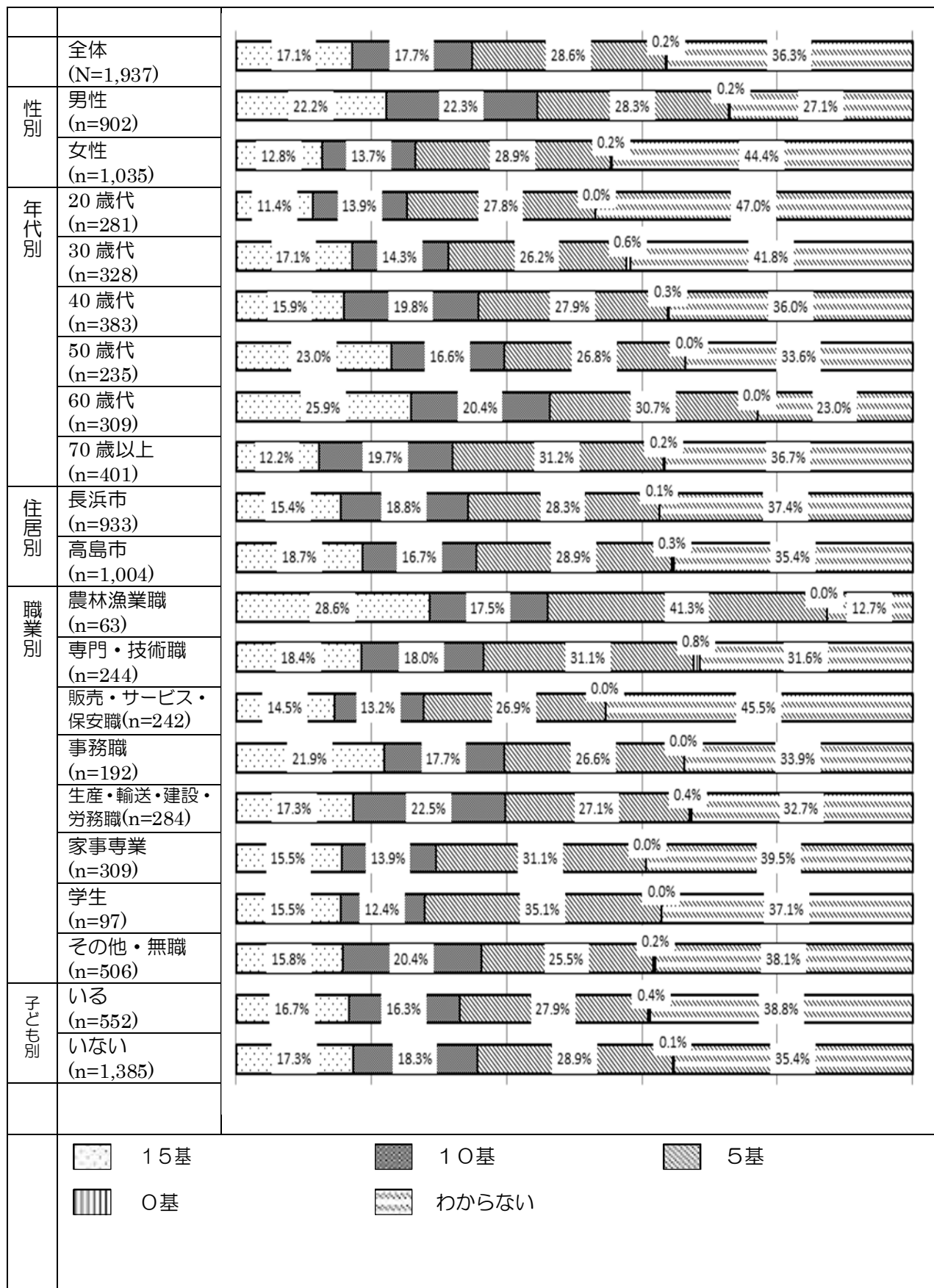
住居別で見ると、長浜市は「わからない」が37.4%で最も高く、次いで「5基」が28.3%となっている。高島市も「わからない」が35.4%で最も高く、次いで「5基」が28.9%となっている。

【職業別】

職業別で見ると、農林漁業職を除いて「わからない」が専門・技術職(31.6%)、販売・サービス・保安職(45.5%)、家事専業(39.5%)、学生(37.1%)、その他・無職(38.1%)、事務職(33.9%)、生産・輸送・建設・労務職(32.7%)で一番高くなっている。農林漁業職のみ「5基」が41.3%で一番高くなっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「わからない」が38.8%で最も高く、次いで「5基」が27.9%となっている。いない方も「わからない」が35.4%で最も高く、次いで「5基」が28.9%となっている。



(5) 県における市内の放射線量の測定について

問 1-5 県では、市内の放射線量の測定を行っています。知っていますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「知っている」が 54.8%で「知らない」が 45.2%となっており、「知っている」が「知らない」を上回っている。

【性別】

男女別で見ると、「知っている」は、男性が 56.3%、女性は 53.5%となっており、男女とも「知っている」が「知らない」を上回っている。

【年代別】

年代別に見ると、「知っている」は 20 歳代が 39.9%、30 歳代が 46.6%で「知らない」が「知っている」を上回っている。それ以降の年代は 40 歳代が 52.7%、50 歳代が 58.3%、60 歳代が 65.7%、70 歳以上が 63.6%と「知っている」が「知らない」を上回っている。

【住居別】

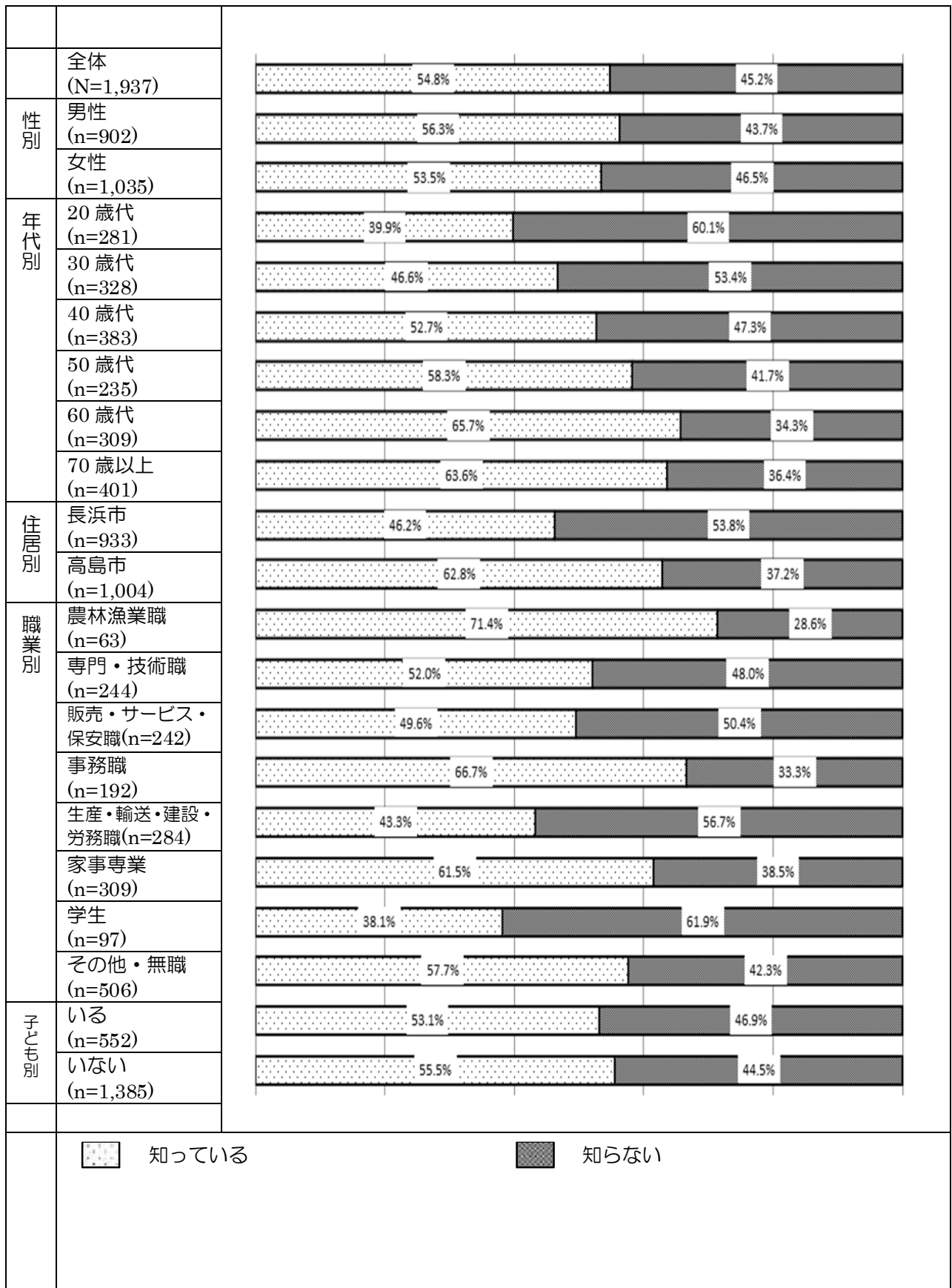
住居別に見ると、長浜市は「知っている」が 46.2%「知らない」が 53.8%で「知らない」が「知っている」を上回っている。逆に高島市は「知っている」が 62.8%「知らない」が 37.2%で「知っている」が「知らない」を上回っている。

【職業別】

職業別に見ると、農林漁業職は「知っている」が 71.4%、事務職が 66.7%、家事専業が 61.5%、その他・無職が 57.7%、専門・技術職が 52.0%と「知っている」が「知らない」を上回っている。学生は「知っている」が 38.1%、生産・輸送・建設・労務職が 43.3%、販売・サービス・保安職が 49.6%と「知らない」が「知っている」を上回っている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、「知っている」は、子どものいる方が 53.1%、いない方が 55.5%となっており、子どもの有無に関係なく、ともに「知っている」が「知らない」を上回っている。



(6) 身の回りの放射線量について

問 1-6 あなたの身の回りの放射線量を知っていますか。市内の放射線量であてはまるものを以下の項目から選んでください。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「わからない」が72.4%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が21.0%となっている。

【性別】

男女別で見ると、男性は「わからない」が67.6%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が24.9%となっている。女性も「わからない」が76.5%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が17.5%となっている。

【年代別】

年代別で見ると、全年代とも「わからない」が20歳代(78.3%)、30歳代(75.3%)、70歳以上(72.6%)、40歳代(71.3%)、50歳代(69.4%)、60歳代(67.3%)と最も高くなっている。

【住居別】

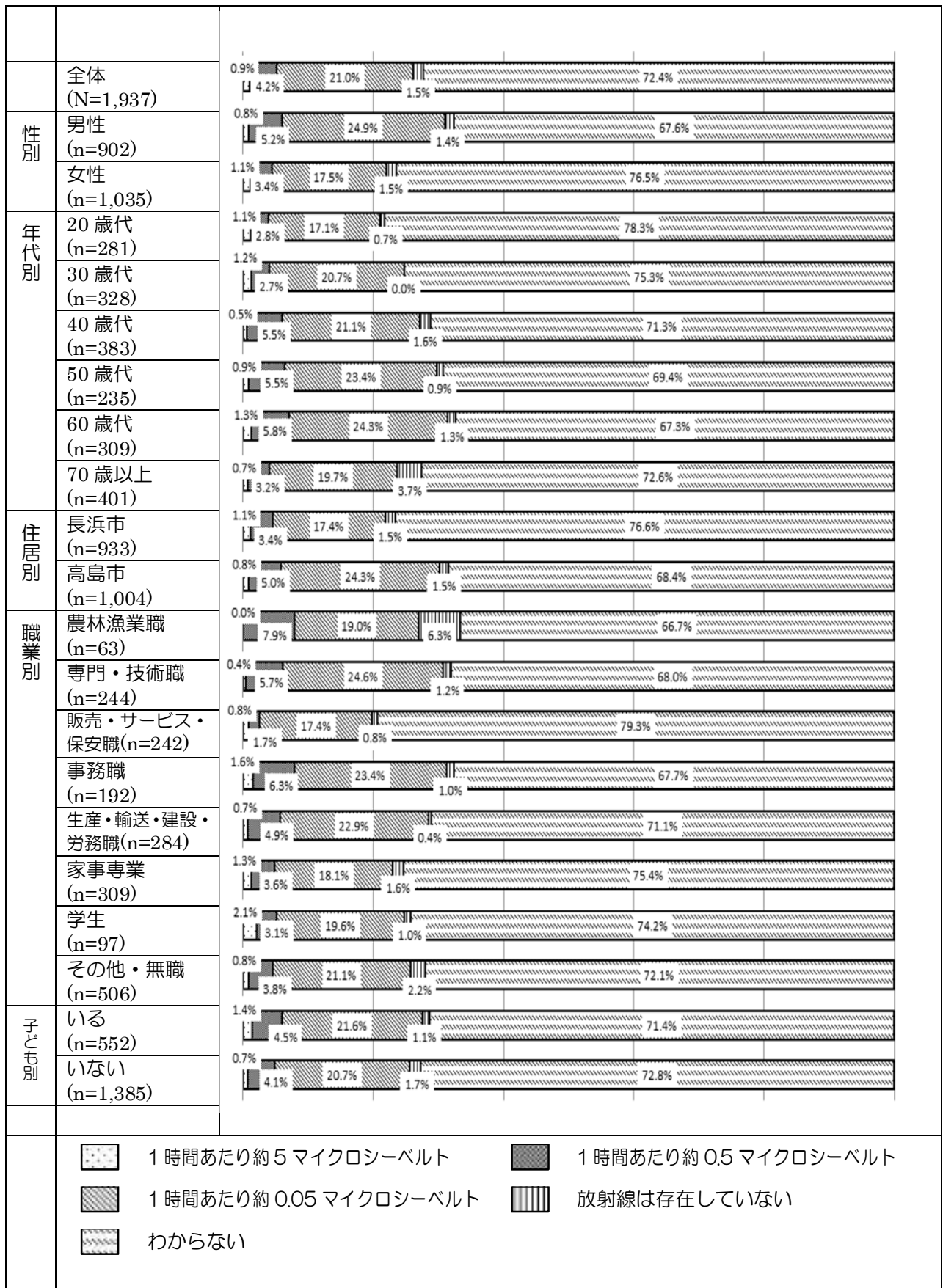
住居別で見ると、長浜市は「わからない」が76.6%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が17.4%となっている。高島市も「わからない」が68.4%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が24.3%となっている。

【職業別】

職業別で見ると、全職業とも「わからない」が販売・サービス・保安職(79.3%)、家事専業(75.4%)、学生(74.2%)、その他・無職(72.1%)、生産・輸送・建設・労務職(71.1%)、専門・技術職(68.0%)、事務職(67.7%)、農林漁業職(66.7%)と最も高くなっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「わからない」が71.4%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が21.6%となっている。いない方も「わからない」が72.8%で最も高く、次いで「1時間あたり約0.05マイクロシーベルト」が20.7%となっている。



(7)放射線の意味について

問 1-7 あなたは、放射線の意味を知っていますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 69.7%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 29.2%となっている。

【性別】

男女別で見ると、男性は「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 64.7%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 34.5%となっている。女性も「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 74.1%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 24.5%となっている。

【年代別】

全年代とも「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 30 歳代 (72.6%)、40 歳代 (71.3%)、70 歳以上 (69.3%)、50 歳代 (68.5%)、20 歳代 (68.3%)、60 歳代 (67.6%) と最も高くなっている。

【住居別】

住居別で見ると、長浜市は「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 73.5%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 25.5%となっている。高島市も「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 66.2%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 32.6%となっている。

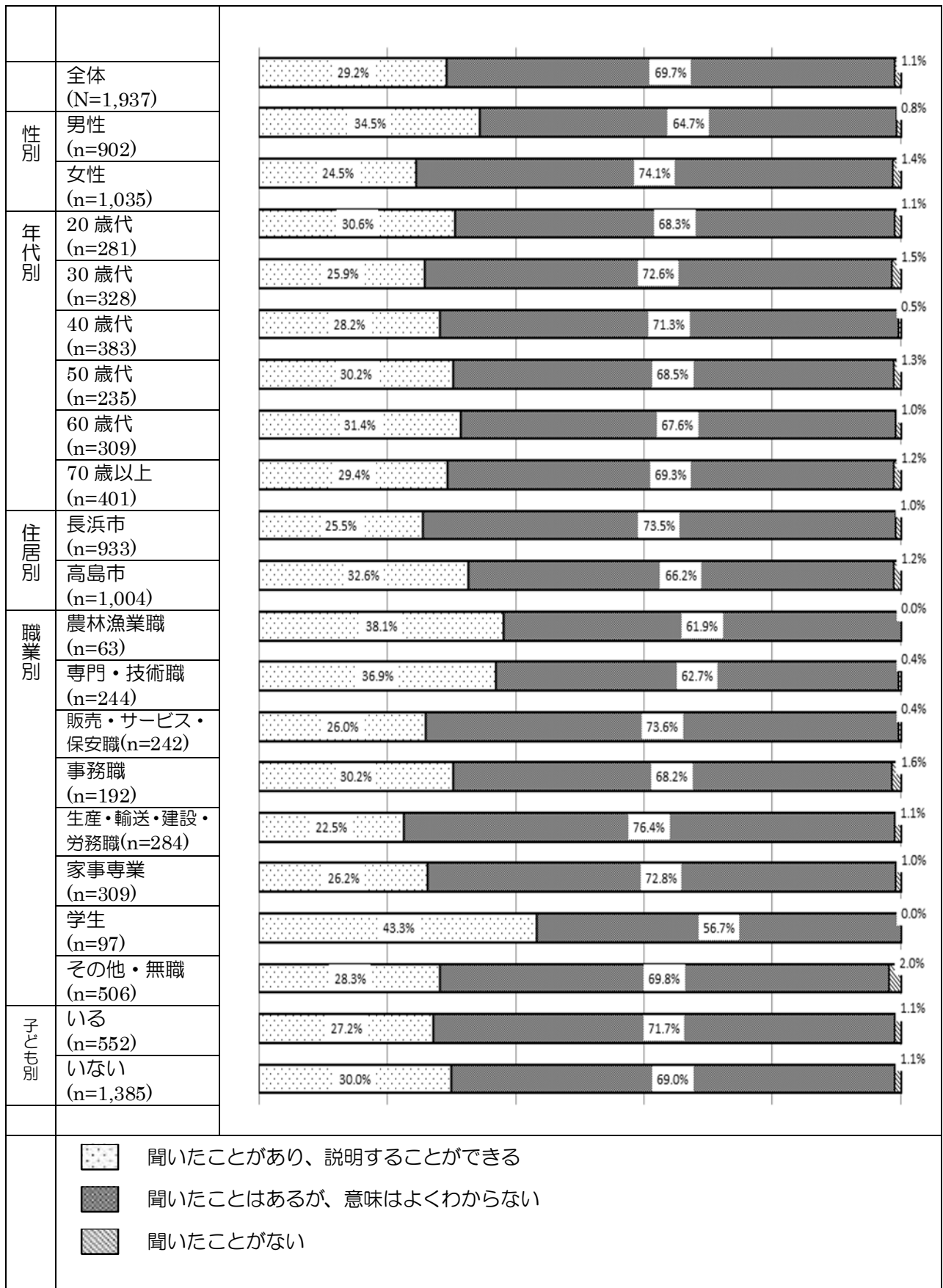
【職業別】

職業別で見ると、全職業とも「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が生産・輸送・建設・労務職 (76.4%)、販売・サービス・保安職 (73.6%)、家事専業 (72.8%)、その他・無職 (69.8%)、事務職 (68.2%)、専門・技術職 (62.7%)、農林漁業職 (61.9%)、学生 (56.7%) と一番高く、学生を除いて「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が大半を占めている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 71.7%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 27.2%となっている。いない方も「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が 69.0%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、説明することができる」が 30.0%となっている。





(8)原子力災害に対する備えについて

問 1-8 あなたは、原子力災害に対して何か備えていますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「備えていない」が89.8%で「備えている」が10.2%となり、「備えていない」が全体の約9割を占めている。

【性別】

男女別で見ると、男性は「備えていない」が90.0%で「備えている」が10.0%となっている。女性も「備えていない」が89.7%で「備えている」が10.3%となっている。性別に関係なく「備えていない」が約9割を占めている。

【年代別】

年代別で見ると、全年代とも「備えていない」が20歳代(93.2%)、50歳代(93.2%)、40歳代(90.6%)、30歳代(90.2%)、60歳代(90.0%)、70歳以上(84.3%)と最も高く、70歳以上を除くと「備えていない」が9割を占めている。

【住居別】

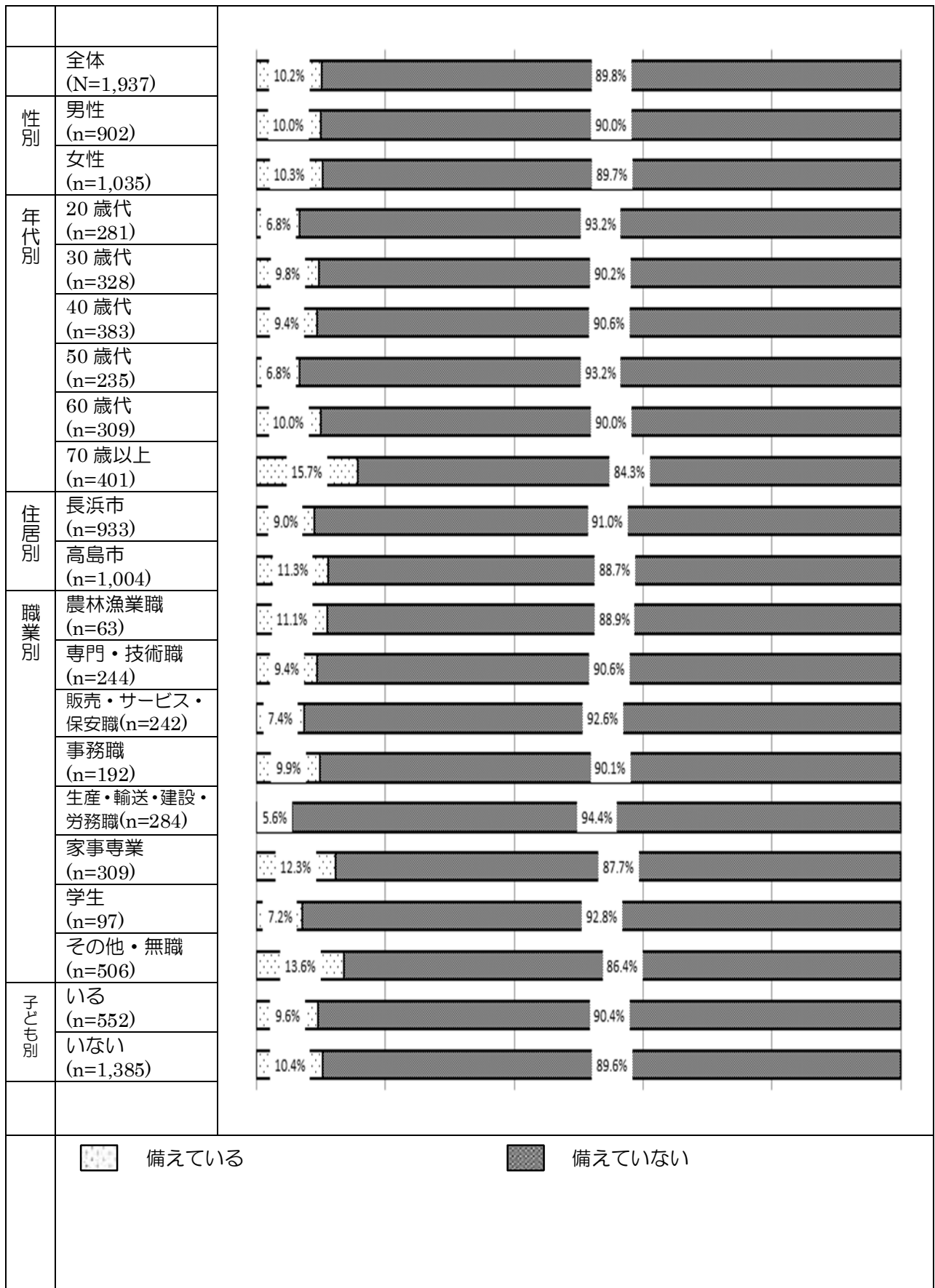
住居別で見ると、長浜市は「備えていない」が91.0%で「備えている」が9.0%となっている。高島市も「備えていない」が88.7%で「備えている」が11.3%となっている。

【職業別】

職業別で見ると、全職業とも「備えていない」が生産・輸送・建設・労務職(94.4%)、学生(92.8%)、販売・サービス・保安職(92.6%)、専門・技術職(90.6%)、事務職(90.1%)、農林漁業職(88.9%)、家事専業(87.7%)、その他・無職(86.4%)と最も高くなっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「備えていない」が90.4%で「備えている」が9.6%となっている。いない方も「備えていない」が89.6%で「備えている」が10.4%となっている。



## ○原子力災害に対する備えの内容について

問 1-8 で「備えている」と回答された方におたずねします。どのようなことを行っていますか。(〇はいくつでも)

### 【全体】

全体で見ると、「避難場所の確認」が 71.6%で最も高く、次いで「避難経路・手段の確認」と「マスクなど放射性物質を吸い込まないようにするための装具を準備している」が 40.1%となっている。

### 【性別】

男女別で見ると、男性は「避難場所の確認」が 71.1%で最も高く、次いで「避難経路・手段の確認」が 45.6%となっている。女性は「避難場所の確認」が 72.0%で最も高く、次いで「マスクなど放射性物質を吸い込まないようにするための装具を準備している」が 43.9%となっている。

### 【年代別】

年代別で見ると、全年代とも「避難場所の確認」が 30 歳代 (81.3%)、60 歳代 (80.6%)、50 歳代 (75.0%)、70 歳以上 (73.0%)、40 歳代 (58.3%)、20 歳代 (57.9%) と最も高くなっている。

### 【住居別】

住居別で見ると、長浜市は「避難場所の確認」が 69.0%で最も高く、次いで「避難経路・手段の確認」が 38.1%となっている。高島市は「避難場所の確認」が 73.5%で最も高く、次いで「マスクなど放射性物質を吸い込まないようにするための装具を準備している」が 43.4%となっている。

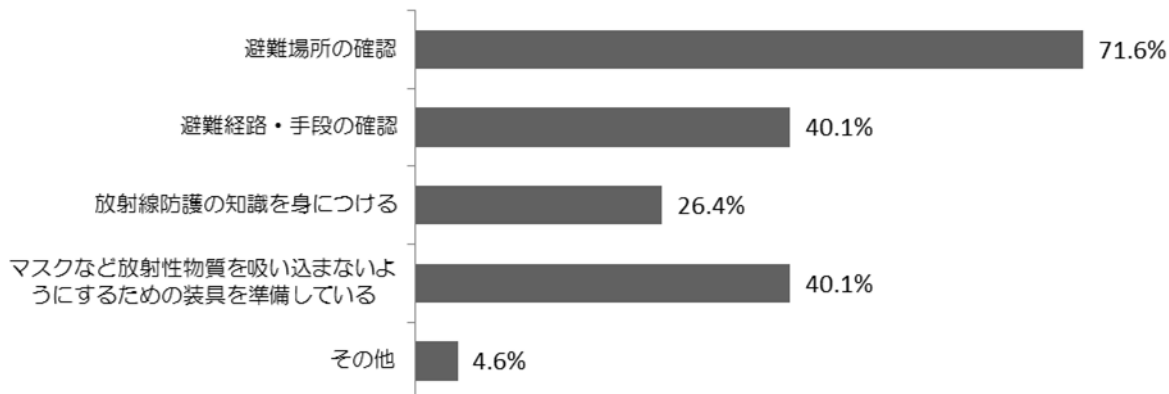
### 【職業別】

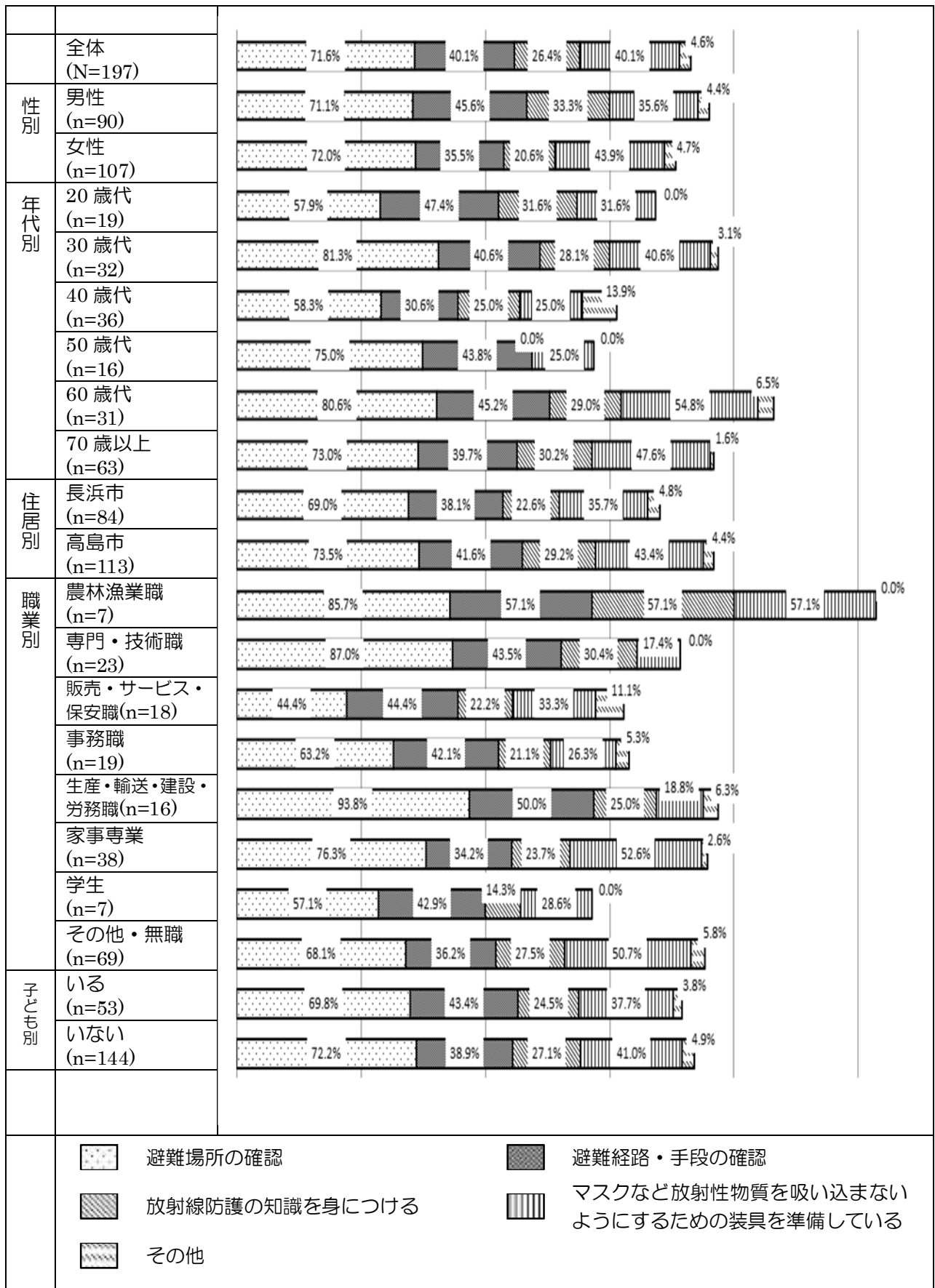
職業別で見ると、販売・サービス・保安職を除き「避難場所の確認」が生産・輸送・建設・労務職 (93.8%)、専門・技術職 (87.0%)、農林漁業職 (85.7%)、家事専業 (76.3%)、その他・無職 (68.1%)、事務職 (63.2%)、学生 (57.1%) と最も高く、販売・サービス・保安職のみ「避難場所の確認」と「避難経路・手段の確認」が 44.4%で同率 1 位となっている。

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「避難場所の確認」が 69.8%で最も高く、次いで「避難経路・手段の確認」が 43.4%となっている。いない方は「避難場所の確認」が 72.2%で最も高く、次いで「マスクなど放射性物質を吸い込まないようにするための装具を準備している」が 41.0%となっている。

問1-8で「備えている」と回答された方におたずねします。どのようなことを行っていますか。(複数回答)





※その他の主な意見は、資料を参照してください。

(9) 原子力災害が起こった際の行動について

問 1-9 万一原子力災害が起こったとしたら、どのような行動を取りますか。(〇はいくつでも)

【全体】

全体で見ると、「テレビなどで情報を集める」が 75.2%で最も高く、次いで「建物の中に入る」が 51.5%、「できるだけ遠くに避難する」が 50.4%となっている。

【性別】

男女別で見ると、男性は「テレビなどで情報を集める」が 72.8%で最も高く、次いで「できるだけ遠くに避難する」が 53.4%となっている。女性は「テレビなどで情報を集める」が 77.2%で最も高く、次いで「建物の中に入る」が 55.1%となっている。

【年代別】

年代別で見ると、全年代とも「テレビなどで情報を集める」が 40 歳代 (77.0%)、60 歳代 (76.7%)、50 歳代 (76.6%)、30 歳代 (74.7%)、70 歳以上 (73.8%)、20 歳代 (72.2%) と最も高くなっている。

【住居別】

住居別で見ると、長浜市は「テレビなどで情報を集める」が 76.0%で最も高く、次いで「建物の中に入る」が 53.7%となっている。高島市は「テレビなどで情報を集める」が 74.4%で最も高く、次いで「できるだけ遠くに避難する」が 51.3%となっている。

【職業別】

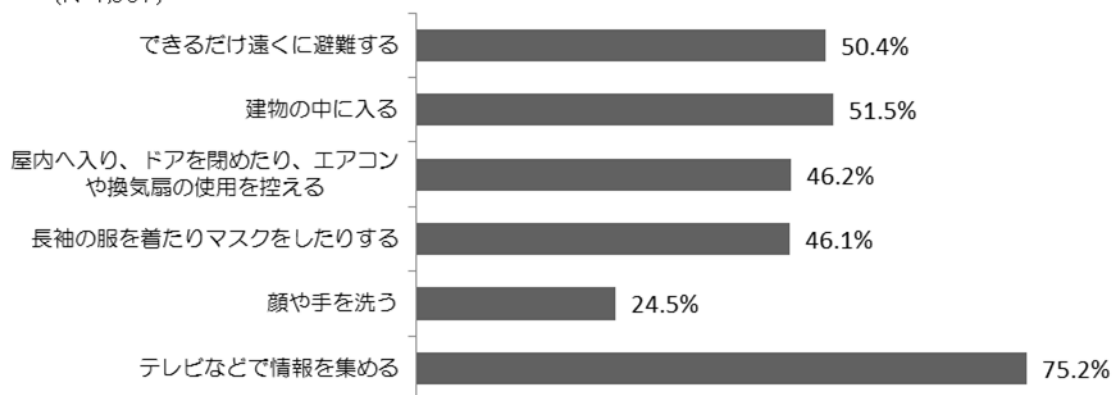
職業別で見ると、全職業とも「テレビなどで情報を集める」が家事専業 (78.6%)、専門・技術職 (77.5%)、事務職 (75.5%)、その他・無職 (75.5%)、学生 (74.2%)、販売・サービス・保安職 (73.6%)、生産・輸送・建設・労務職 (72.2%)、農林漁業職 (66.7%) で最も高くなっている。

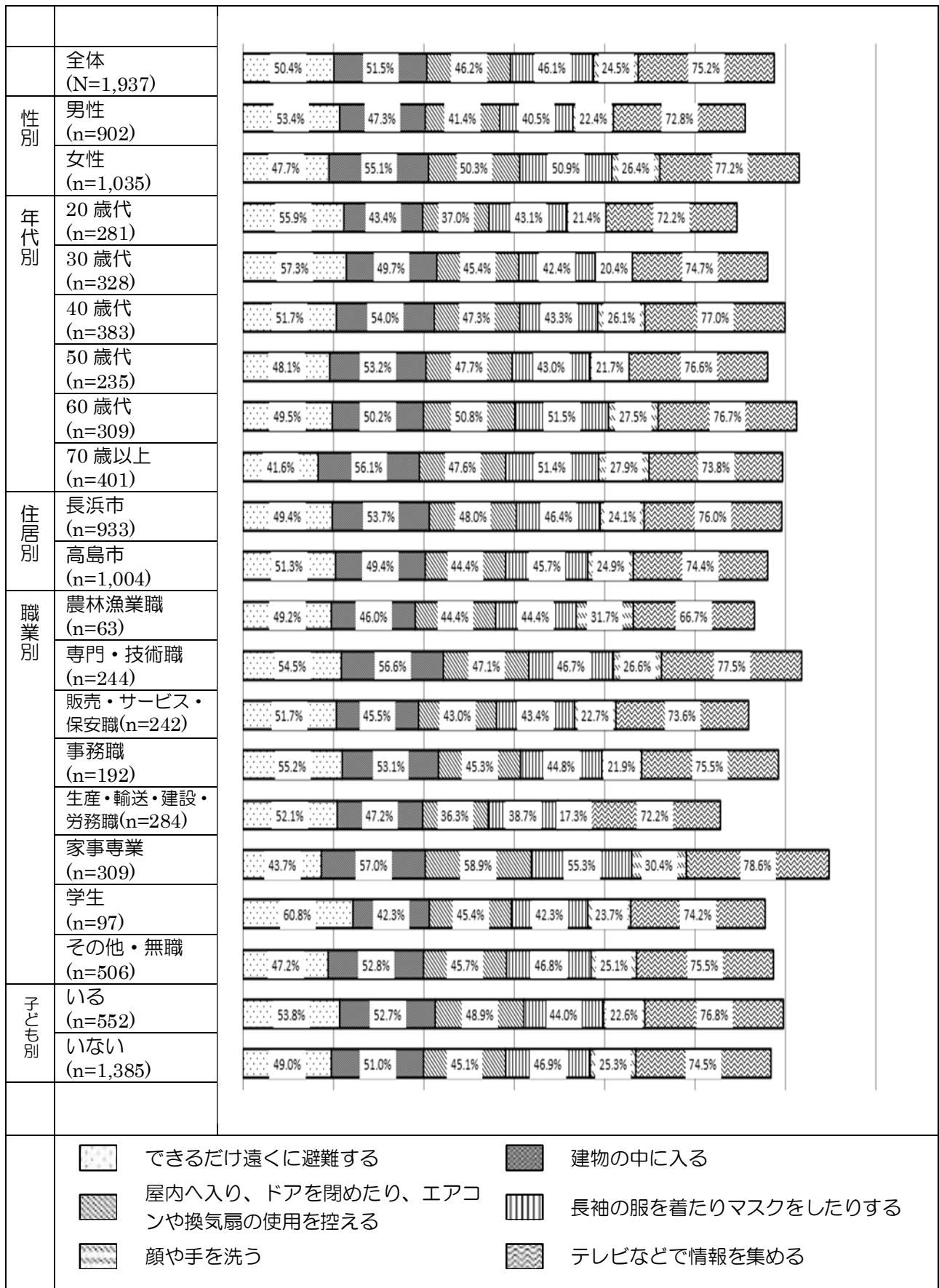
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どものいる方は「テレビなどで情報を集める」が 76.8%で最も高く、次いで「できるだけ遠くに避難する」が 53.8%となっている。いない方は「テレビなどで情報を集める」が 74.5%で最も高く、次いで「建物の中に入る」が 51.0%となっている。

問 1-9 万一原子力災害が起こったとしたら、どのような行動を取りますか。(複数回答)

(N=1,937)





## 2. 情報の取得方法と信頼性

### (1) 平常時における防災情報の取得方法について

問 2-1 日常において、防災に関する情報をどのような方法で知ろうとしていますか。  
(〇はいくつでも)

#### 【全体】

全体で見ると、「テレビ」が 91.6%で最も高く、次いで「新聞」が 62.9%、「インターネット」が 40.8%、「県や市の広報誌」が 39.0%と続いている。

#### 【性別】

男女別に見ると、男性は「テレビ」が 89.6%で最も高く、次いで「新聞」が 60.5%となっている。女性も「テレビ」が 93.4%で最も高く、次いで「新聞」が 65.0%となっている。

#### 【年代別】

年代別に見ると、「テレビ」が 60 歳代 (94.8%)、70 歳以上 (94.3%)、50 歳代 (93.2%)、40 歳代 (90.9%)、30 歳代 (88.7%)、20 歳代 (87.5%) で最も高くなっている。「インターネット」は 20 歳代 (63.0%) と 30 歳代 (57.0%) で 2 番目となっている。「新聞」は 70 歳以上 (75.3%)、50 歳代 (74.0%)、60 歳代 (72.2%)、40 歳代 (59.5%) で 2 番目となっている。

#### 【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「テレビ」が 92.2%で最も高く、次いで「新聞」が 65.7%となっている。高島市も「テレビ」が 91.1%で最も高く、次いで「新聞」が 60.4%となっている。

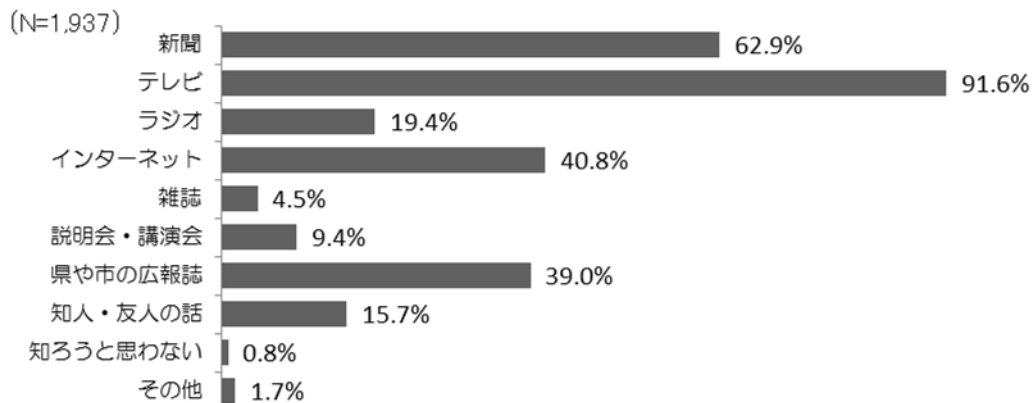
#### 【職業別】

職業別に見ると、「テレビ」が家事専業 (94.2%)、販売・サービス・保安職 (92.6%)、その他・無職 (92.5%)、農林漁業職 (92.1%)、生産・輸送・建設・労務職 (91.9%)、事務職 (90.6%)、専門・技術職 (88.5%)、学生 (85.6%) で最も高くなっている。次いで学生を除いて「新聞」が農林漁業職 (76.2%)、家事専業 (72.5%)、その他・無職 (68.4%)、事務職 (65.1%)、専門・技術職 (59.8%)、生産・輸送・建設・労務職 (53.9%)、販売・サービス・保安職 (52.5%) と続いている。学生のみ「インターネット」が 72.2%で 2 番目となっている。

#### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「テレビ」が 90.6%で最も高く、次いで「新聞」が 59.2%となっている。いない方も「テレビ」が 92.1%で最も高く、次いで「新聞」が 64.4%となっている。

問2-1 日常において、防災に関する情報をどのような方法で知ろうとしていますか。(複数回答)







※その他の主な意見は、資料を参照してください。

(2) 緊急時における防災情報の取得方法について

問2-2 万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報をどのように知ろうと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

全体で見ると、「テレビ」が87.8%で最も高く、次いで「市からの連絡」が81.0%、「新聞」が43.4%、「インターネット」が41.9%と続いている。

【性別】

男女別に見ると、男性は「テレビ」が87.9%で最も高く、次いで「市からの連絡」が75.4%となっている。女性も「テレビ」が87.7%で最も高く、次いで「市からの連絡」が85.9%となっている。

【年代別】

年代別に見ると、「テレビ」が50歳代(91.1%)、60歳代(90.6%)、40歳代(90.3%)、70歳以上(87.5%)、30歳代(84.8%)、20歳代(82.6%)で最も高くなっている。次いで「市からの連絡」が70歳以上(87.3%)、60歳代(86.1%)、50歳代(82.6%)、40歳代(80.9%)、30歳代(77.7%)、20歳代(69.0%)となっている。

【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「テレビ」が88.4%で最も高く、次いで「市からの連絡」が80.4%となっている。高島市も「テレビ」が87.3%で最も高く、次いで「市からの連絡」が81.6%となっている。

【職業別】

職業別に見ると、農林漁業職では「テレビ」と「市からの連絡」が同率の90.5%で最も高い。家事専業では「市からの連絡」が91.6%で最も高く、次いで「テレビ」が90.0%と続いている。学生は「テレビ」が81.4%で最も高く、次いで「インターネット」が78.4%と続いている。

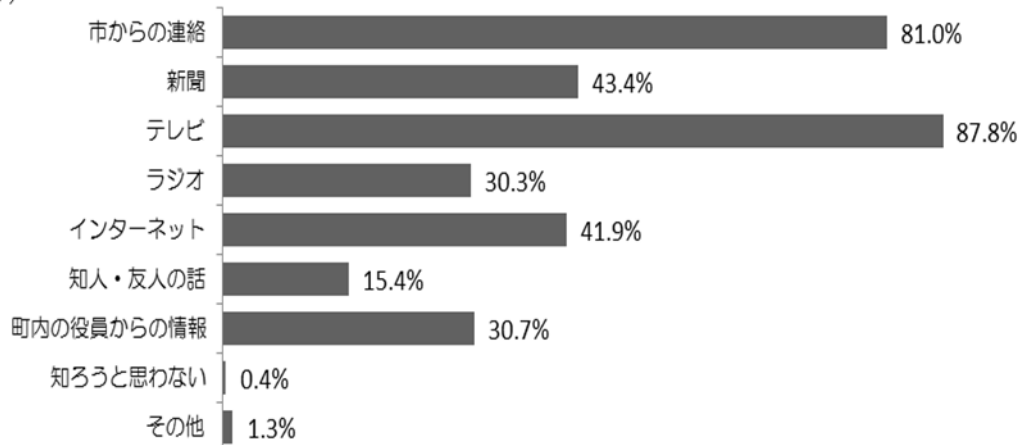
その他の職業は、「テレビ」が事務職(89.1%)、販売・サービス・保安職(88.4%)、生産・輸送・建設・労務職(87.7%)、その他・無職(87.2%)、専門・技術職(86.9%)で最も高く、次いで「市からの連絡」が事務職(82.8%)、その他・無職(80.0%)、販売・サービス・保安職(78.5%)、生産・輸送・建設・労務職(78.2%)、専門・技術職(77.0%)となっている。

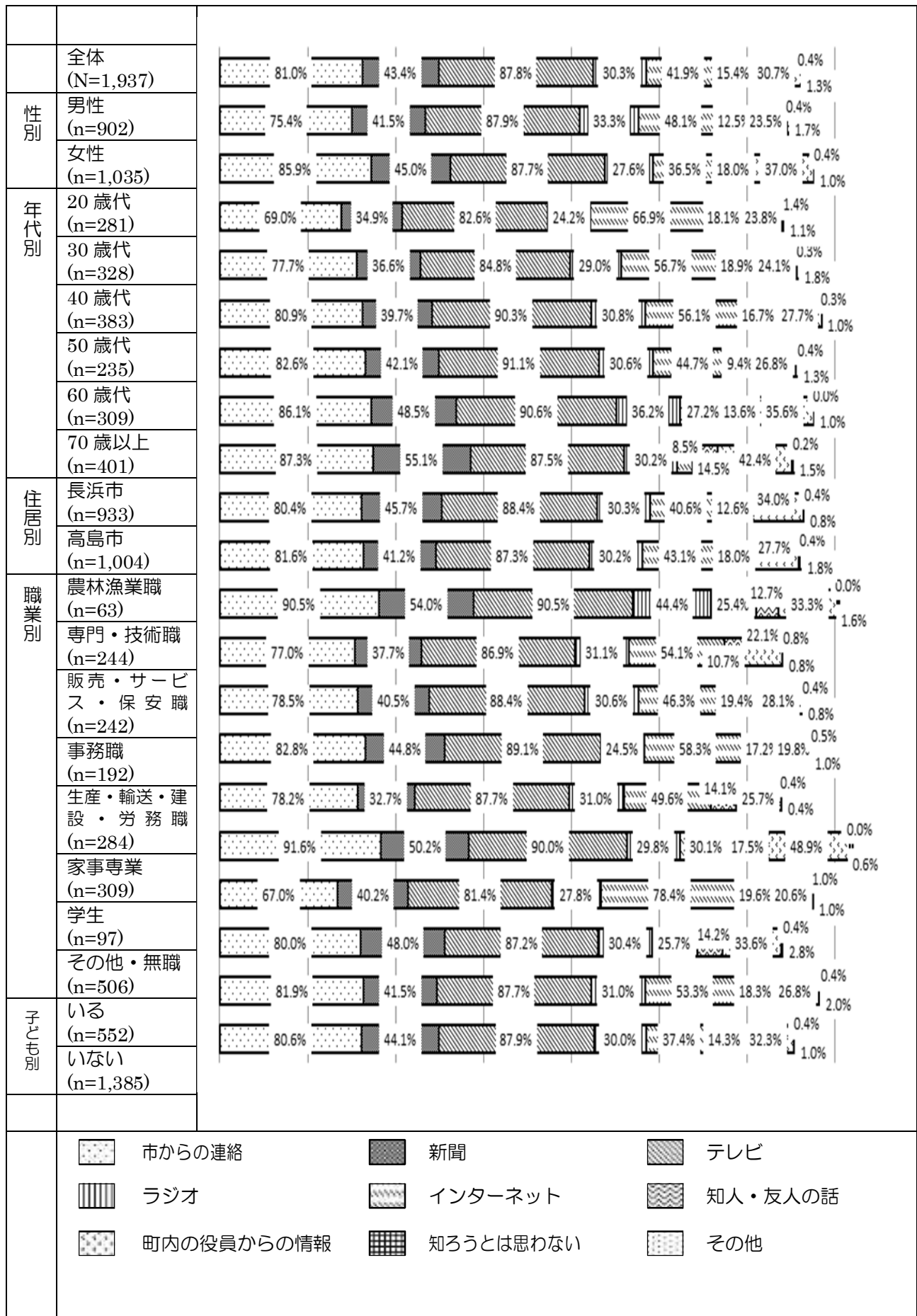
【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「テレビ」が87.7%で最も高く、次いで「市からの連絡」が81.9%となっている。いない方も「テレビ」が87.9%で最も高く、次いで「市からの連絡」が80.6%となっている。

問2-2 万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報をどのように知ろうと思いますか。(複数回答)

(N=1,937)





※その他の主な意見は、資料を参照してください。

(3) 緊急時における防災情報の取得先について

問 2-3 万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報について、どこからの情報を頼りにしますか。(〇はいくつでも)

【全体】

全体で見ると、「市」が74.0%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が67.7%、「県」が54.5%、「国」が38.7%と続いている。

【性別】

男女別に見ると、男性は「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が69.8%で最も高く、次いで「市」が69.4%となっている。女性は「市」が78.0%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が65.9%となっている。

【年代別】

年代別に見ると、「市」が60歳代(80.3%)、70歳以上(80.0%)、50歳代(74.9%)、40歳代(73.6%)、30歳代(68.0%)、20歳代(65.1%)で最も高くなっている。次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が60歳代(75.1%)と50歳代(68.9%)、40歳代(67.6%)、70歳以上(66.6%)、30歳代(64.9%)、20歳代(63.7%)となっている。

【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「市」が73.0%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が67.0%となっている。高島市も「市」が74.9%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が68.4%となっている。

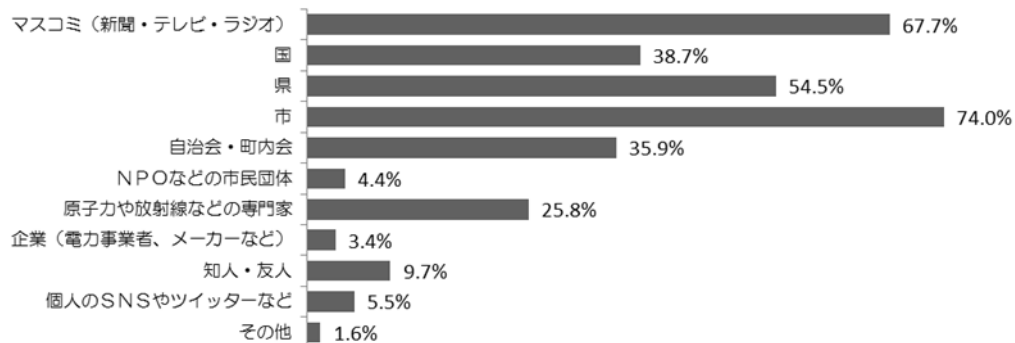
【職業別】

職業別に見ると、「市」が農林漁業職(82.5%)、家事専業(81.6%)、その他・無職(76.3%)、専門・技術職(71.3%)、販売・サービス・保安職(71.1%)、事務職(70.8%)、生産・輸送・建設・労務職(69.4%)、学生(66.0%)で最も高くなっている。次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が家事専業(70.9%)、事務職(69.8%)、農林漁業職(68.3%)、その他・無職(67.8%)、専門・技術職(66.8%)、販売・サービス・保安職(66.5%)、生産・輸送・建設・労務職(65.8%)、学生(63.9%)となっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「市」が73.6%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が67.8%となっている。いない方も「市」が74.2%で最も高く、次いで「マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ）」が67.7%となっている。

問2-3 万一原子力災害が起こったとしたら、原子力災害に関する情報について、どこからの情報を頼りにしますか。(複数回答)  
(N=1,937)





#### (4) 緊急時における行政からの指示について

問 2-4 万一原子力災害が発生し、国や県、市（行政）から屋内退避などの指示が出たとき、どのように行動しますか。（○は1つだけ）

##### 【全体】

全体で見ると、「行政の指示に従う」が74.0%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が14.4%となっている。

##### 【性別】

男女別に見ると、男性は「行政の指示に従う」が72.1%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が18.0%となっている。女性も「行政の指示に従う」が75.7%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が11.3%となっている。

##### 【年代別】

年代別に見ると、「行政の指示に従う」が70歳以上（80.0%）、50歳代（77.4%）、60歳代（77.0%）、20歳代（72.6%）、40歳代（69.7%）、30歳代（67.7%）で最も高くなっている。次いで「自分で考えその場で判断する」が50歳代（17.0%）、40歳代（15.9%）、30歳代（15.9%）、20歳代（15.3%）、60歳代（14.2%）、70歳以上（9.7%）となっている。

##### 【住居別】

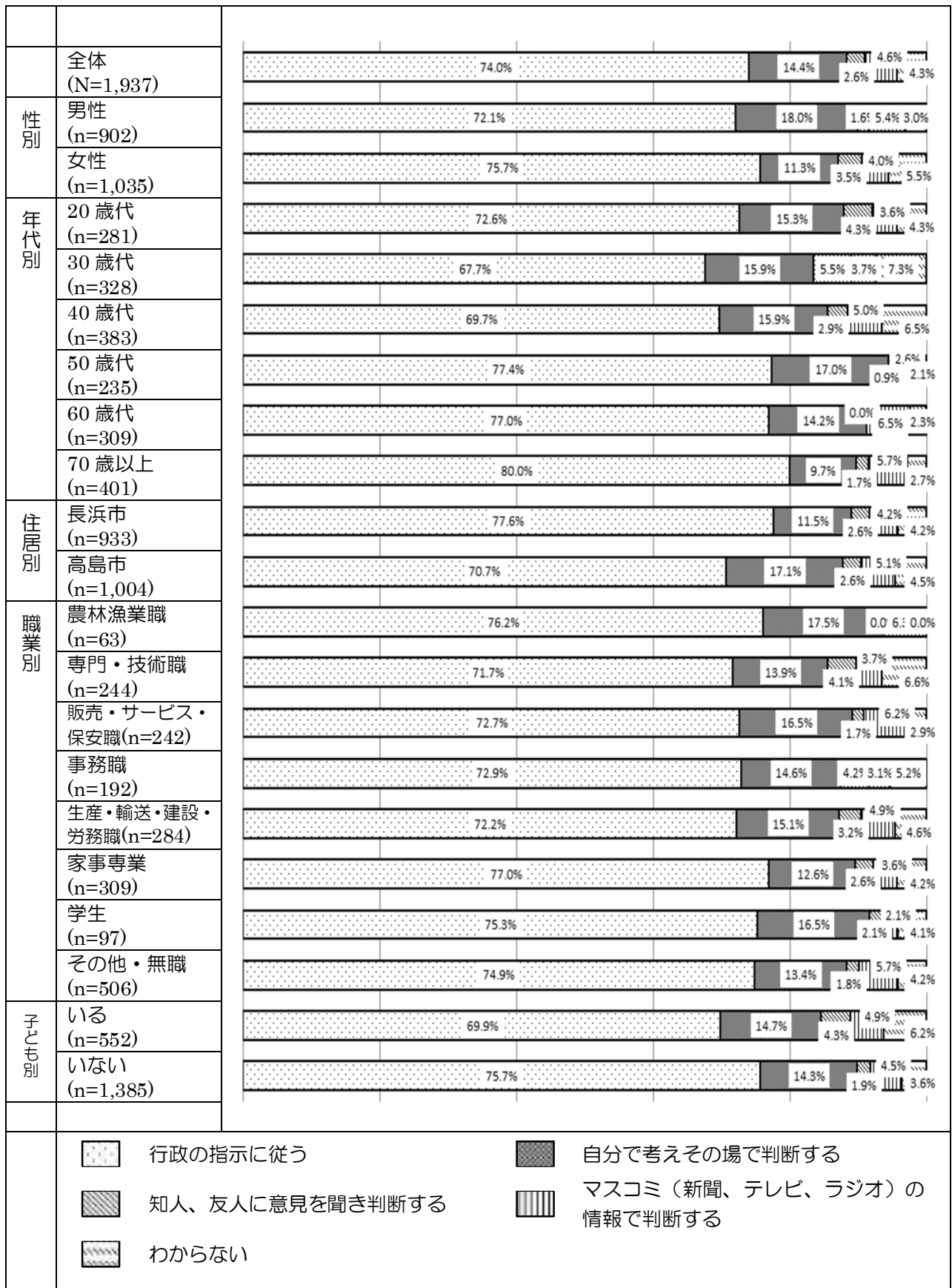
住居別に見ると、長浜市は「行政の指示に従う」が77.6%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が11.5%となっている。高島市も「行政の指示に従う」が70.7%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が17.1%となっている。

##### 【職業別】

職業別に見ると、「行政の指示に従う」が家事専業（77.0%）、農林漁業職（76.2%）、学生（75.3%）、その他・無職（74.9%）、事務職（72.9%）、販売・サービス・保安職（72.7%）、生産・輸送・建設・労務職（72.2%）、専門・技術職（71.7%）で最も高くなっている。次いで「自分で考えその場で判断する」が農林漁業職（17.5%）、販売・サービス・保安職（16.5%）、学生（16.5%）、生産・輸送・建設・労務職（15.1%）、事務職（14.6%）、専門・技術職（13.9%）、その他・無職（13.4%）、家事専業（12.6%）となっている。

##### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「行政の指示に従う」69.9%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が14.7%となっている。いない方も「行政の指示に従う」が75.7%で最も高く、次いで「自分で考えその場で判断する」が14.3%となっている。



### 3. 平常時、緊急時において知りたい情報

#### (1) 平常時における原子力防災に関する情報への関心について

問 3-1 あなたは、日常において、原子力防災に関する情報を知りたいと思いますか。

##### 【全体】

全体で見ると、「ある程度知りたい」が 53.1%で最も高く、次いで「知りたい」が 32.0%となっており、両方を合わせると 85.1%にもなり、多くの方は平常時においても原子力防災に関する情報を知りたいと思っていることがうかがえる。

##### 【性別】

男女別に見ると、男性は「ある程度知りたい」が 50.1%で最も高く、次いで「知りたい」が 34.3%となっている。女性も「ある程度知りたい」が 55.7%で最も高く、次いで「知りたい」が 30.0%となっている。「知りたい」、「ある程度知りたい」を合わせると男女とも8割を超えている。

##### 【年代別】

年代別に見ると、全ての年代で「ある程度知りたい」が 40 歳代 (58.7%)、20 歳代 (58.4%)、30 歳代 (52.4%)、60 歳代 (52.1%)、50 歳代 (51.5%)、70 歳以上 (46.1%) で最も高くなっている。次いで「知りたい」が 70 歳以上 (38.9%)、60 歳代 (38.2%)、50 歳代 (34.9%)、30 歳代 (29.3%)、40 歳代 (27.4%)、20 歳代 (22.1%) となっている。「知りたい」、「ある程度知りたい」を合わせると全ての年代が8割を超えている。

##### 【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「ある程度知りたい」が 54.4%で最も高く、次いで「知りたい」が 30.0%となっている。高島市も「ある程度知りたい」が 51.8%で最も高く、次いで「知りたい」が 33.8%となっている。「知りたい」、「ある程度知りたい」を合わせると両市とも8割を超えている。

##### 【職業別】

職業別に見ると、全職業で「ある程度知りたい」が学生 (63.9%)、販売・サービス・保安職 (59.5%)、家事専業 (53.7%)、生産・輸送・建設・労務職 (52.5%)、事務職 (52.1%)、専門・技術職 (50.8%)、その他・無職 (50.2%)、農林漁業職 (46.0%) で最も高くなっている。次いで「知りたい」が農林漁業職 (41.3%)、事務職 (35.4%)、家事専業 (35.0%)、専門・技術職 (33.6%)、その他・無職 (33.4%)、生産・輸送・建設・労務職 (28.2%)、販売・サービス・保安職 (27.3%)、学生 (20.6%) となっている。「知りたい」、「ある程度知りたい」を合わせると全職業が8割を超えている。

##### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「ある程度知りたい」が 56.5%で最も高く、次いで「知りたい」が 29.0%となっている。いない方も「ある程度知りたい」が 51.7%で最も高く、次いで「知りたい」が 33.1%となっている。「知りたい」、「ある程度知りたい」を合わせると8割を超えている。





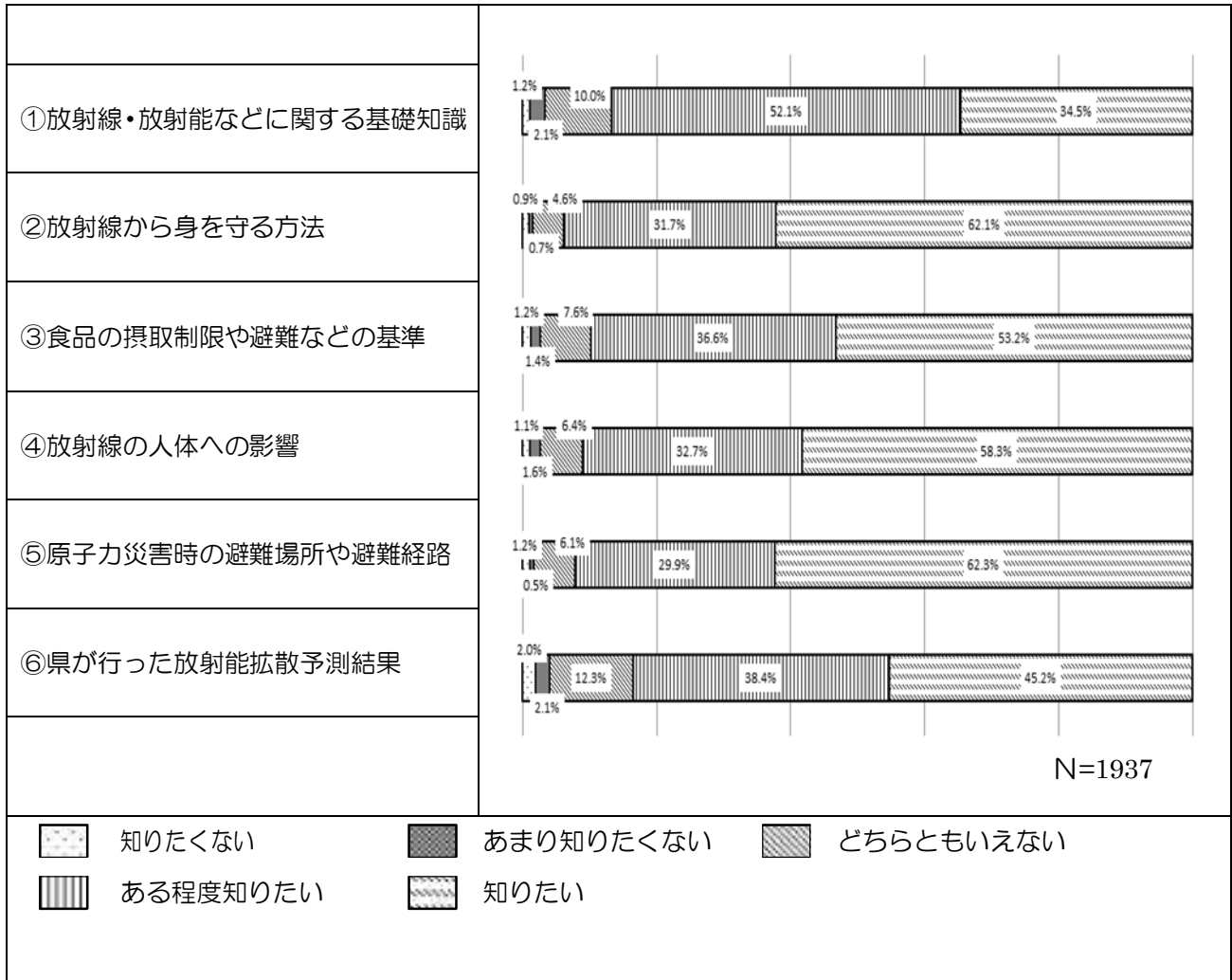
(2) 平常時に知りたい情報について

問 3-2 あなたは、日常において、原子力災害に関する以下の項目について、どれくらい知りたいと思っていますか。(各項目で○は1つだけ)

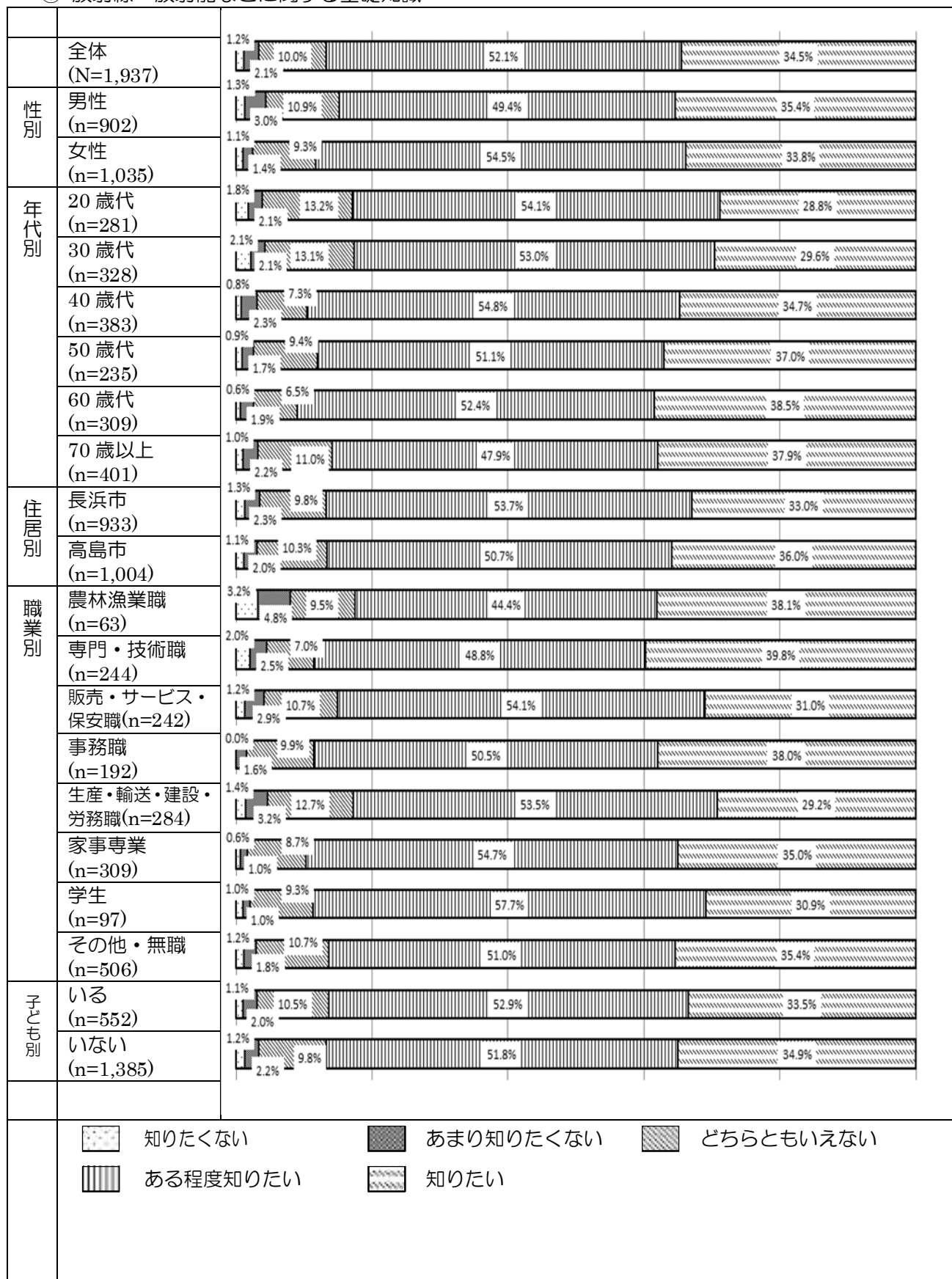
【全体】

平常時において原子力防災に関して知りたい情報（個別項目）を見ると、各項目とも「知りたい」と「ある程度知りたい」の合計は8割を超えている。

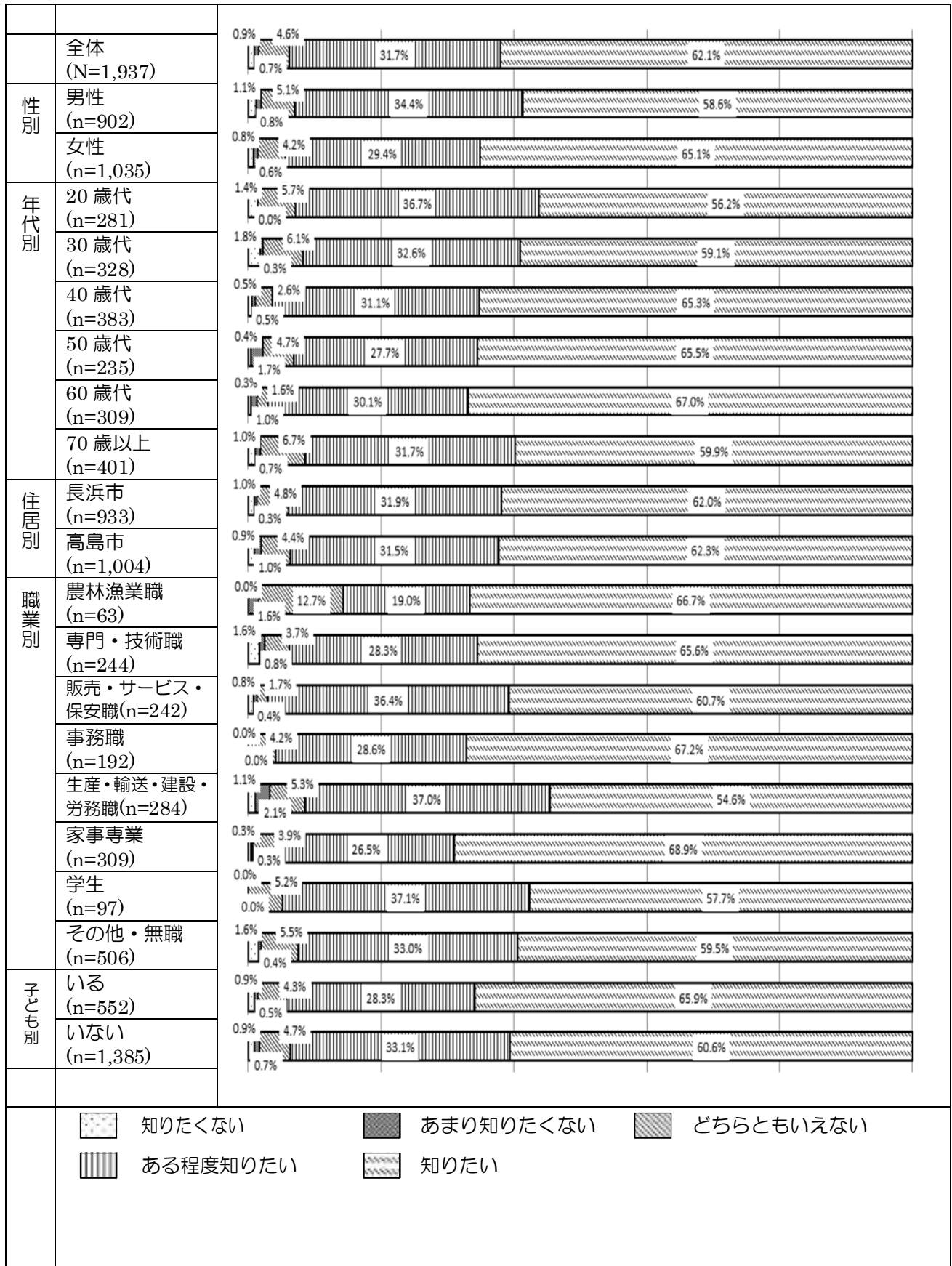
また、「知りたい」を見ると②放射線から身を守る方法や⑤原子力災害時の避難場所や避難経路は他の項目とは違い、6割を超えている。



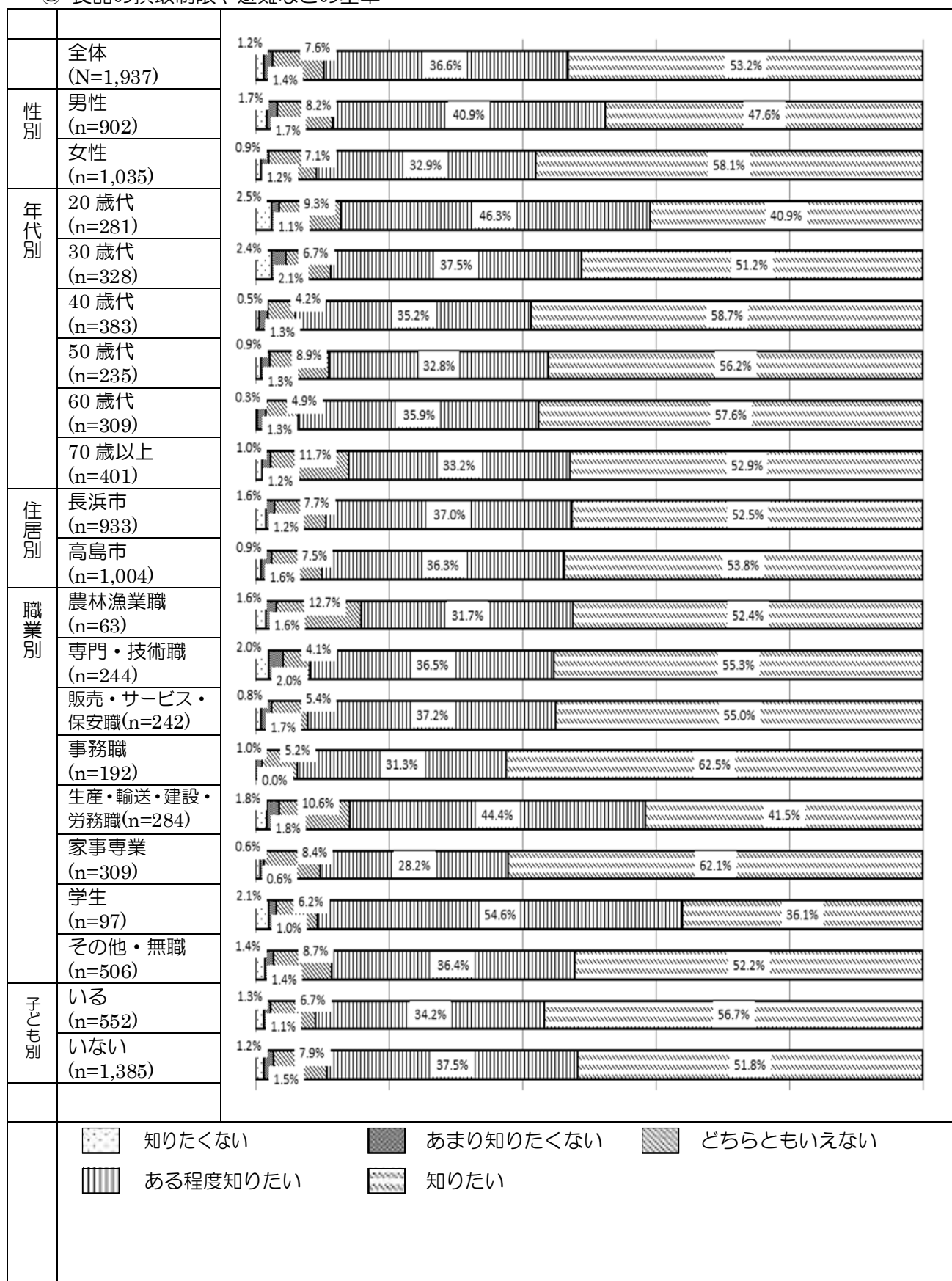
① 放射線・放射能などに関する基礎知識



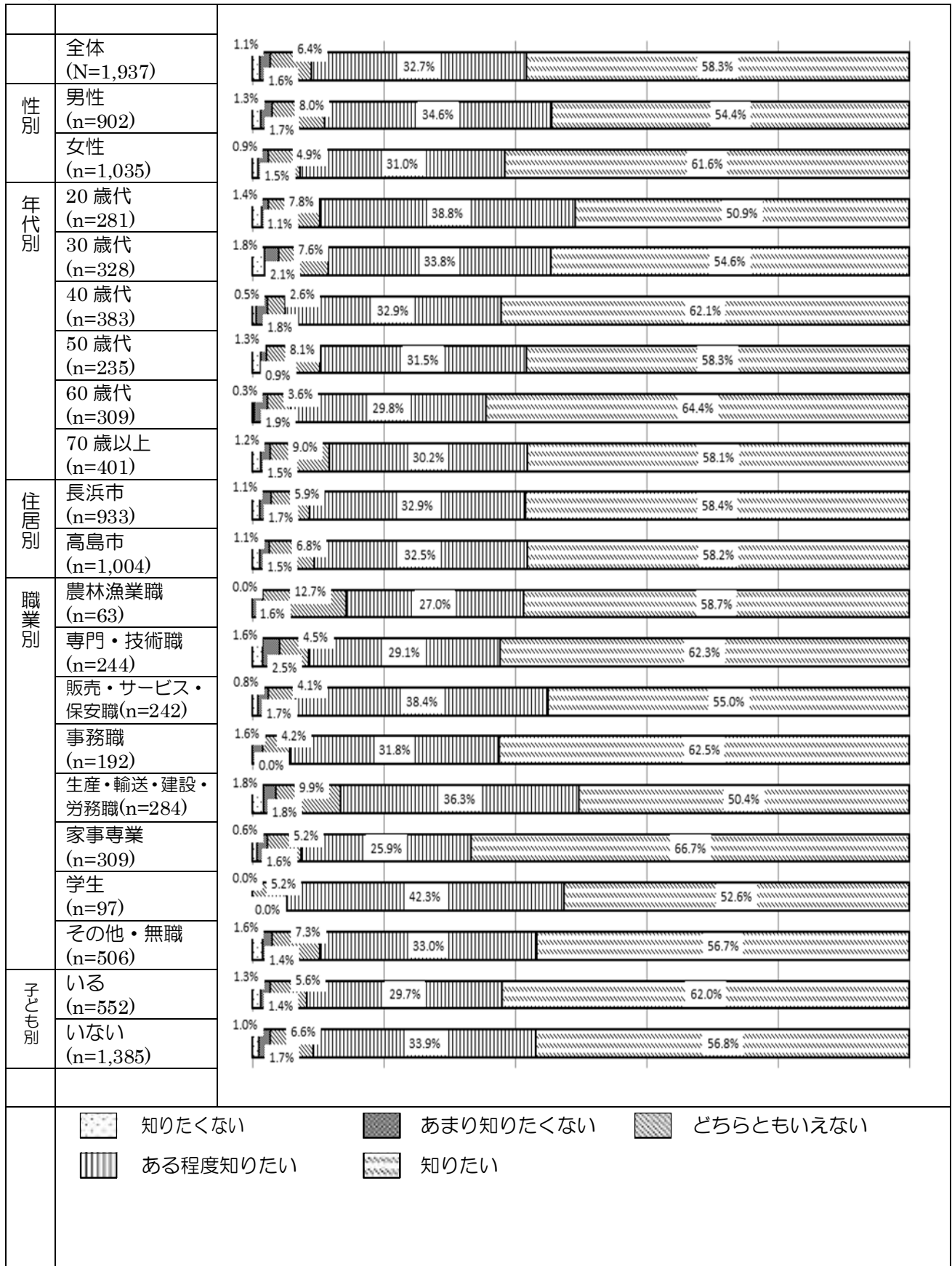
② 放射線から身を守る方法



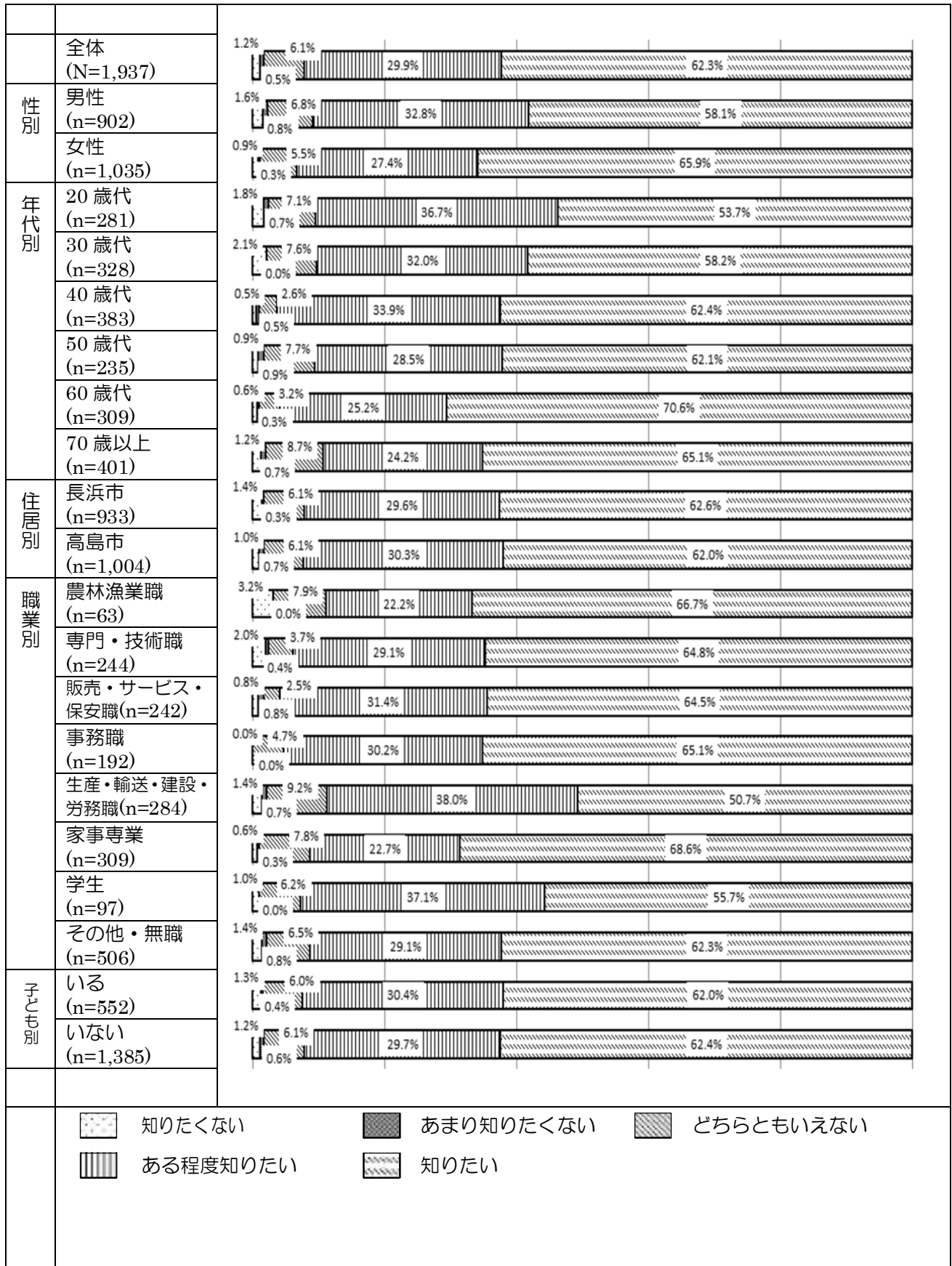
③ 食品の摂取制限や避難などの基準



④ 放射線の人体への影響



⑤ 原子力災害時の避難場所や避難経路



⑥ 県が行った放射能拡散予測結果





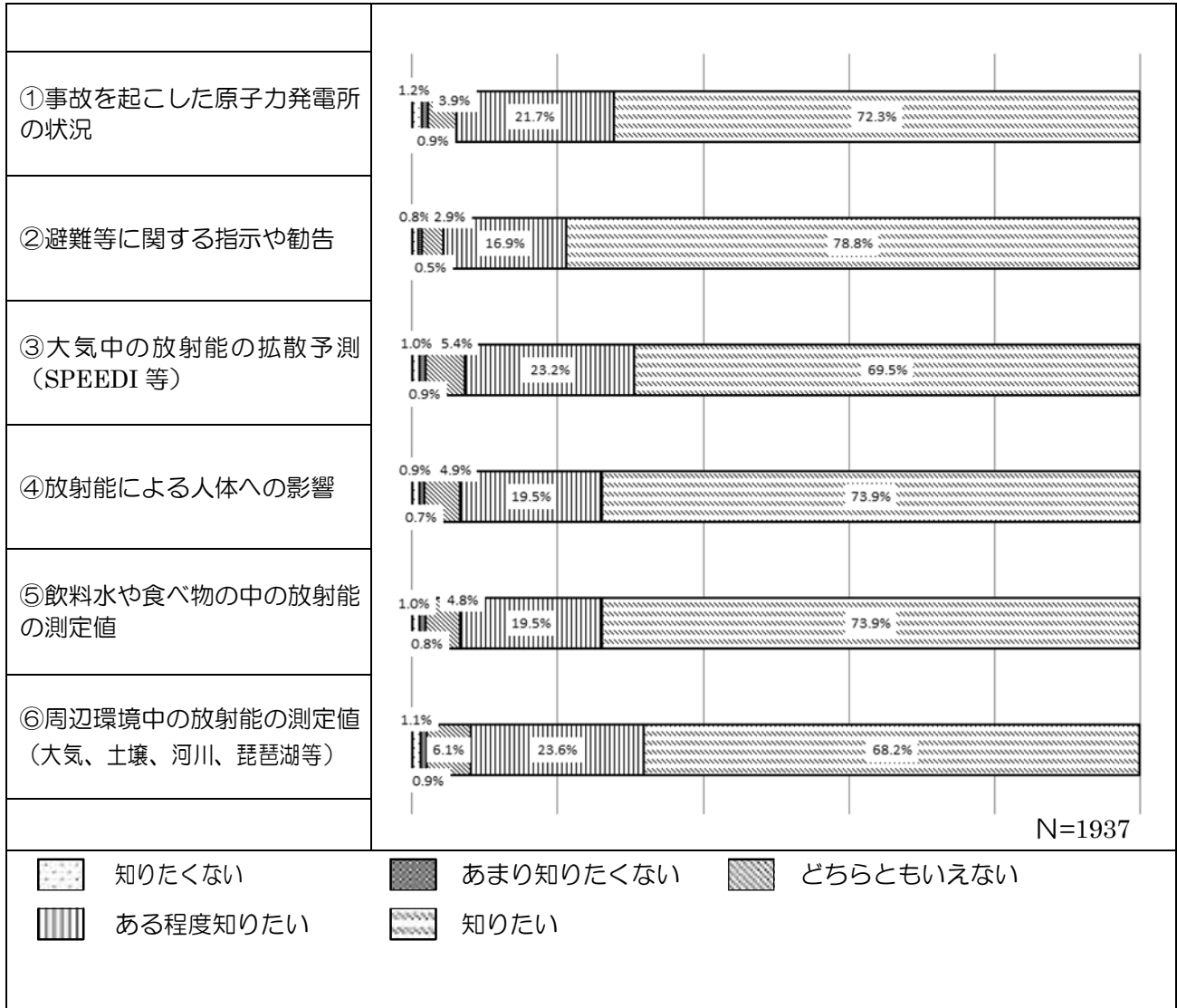
(3) 緊急時に知りたい情報について

問 3-3 万一原子力災害が起こったとしたら、あなたは原子力災害に関する以下の項目について、どれくらい知りたいと思いますか。(各項目で〇は1つだけ)

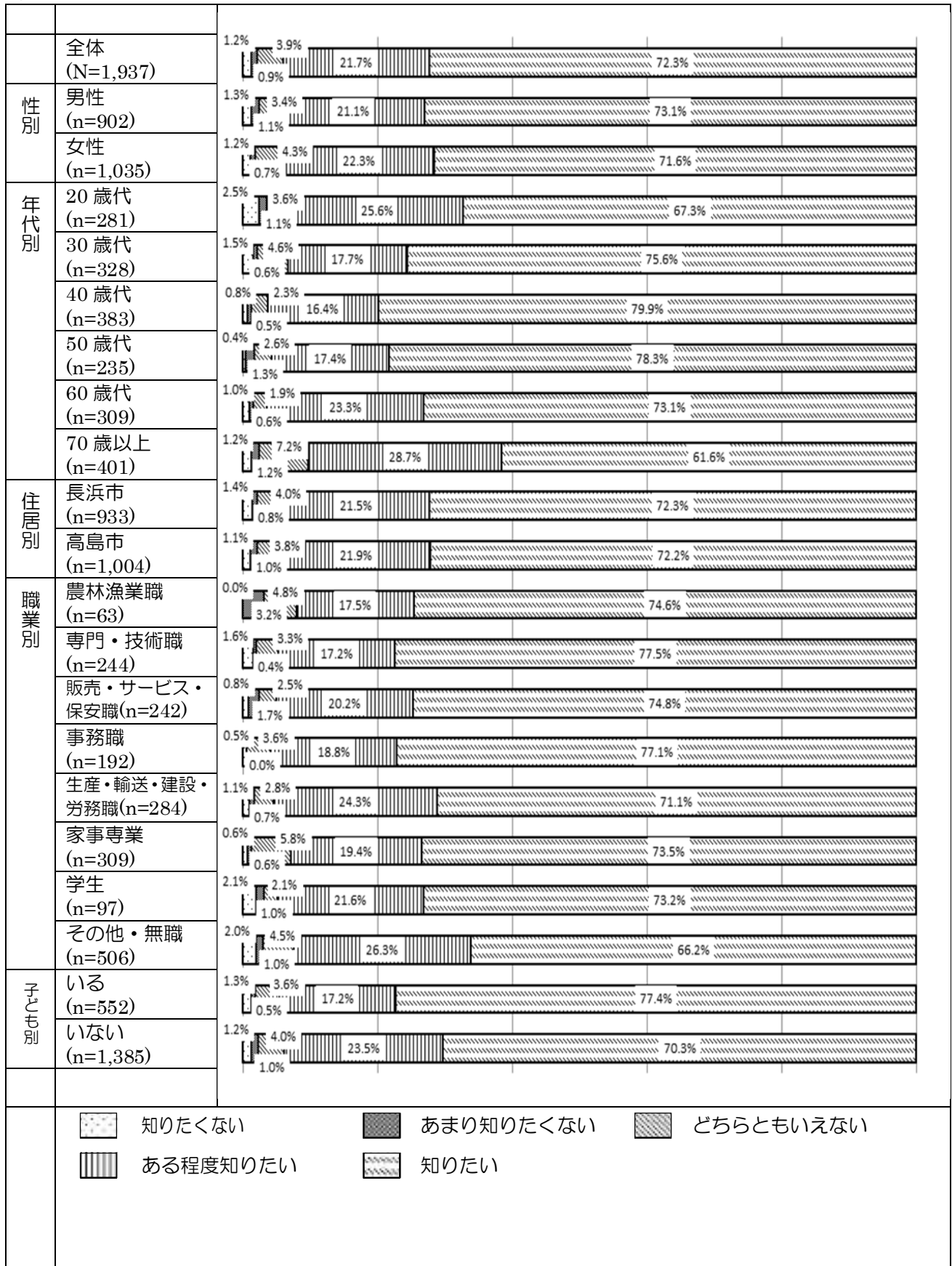
【全体】

緊急時に原子力防災に関して知りたい情報（個別項目）を見ると、各項目とも「知りたい」と「ある程度知りたい」の合計は9割を超えている。

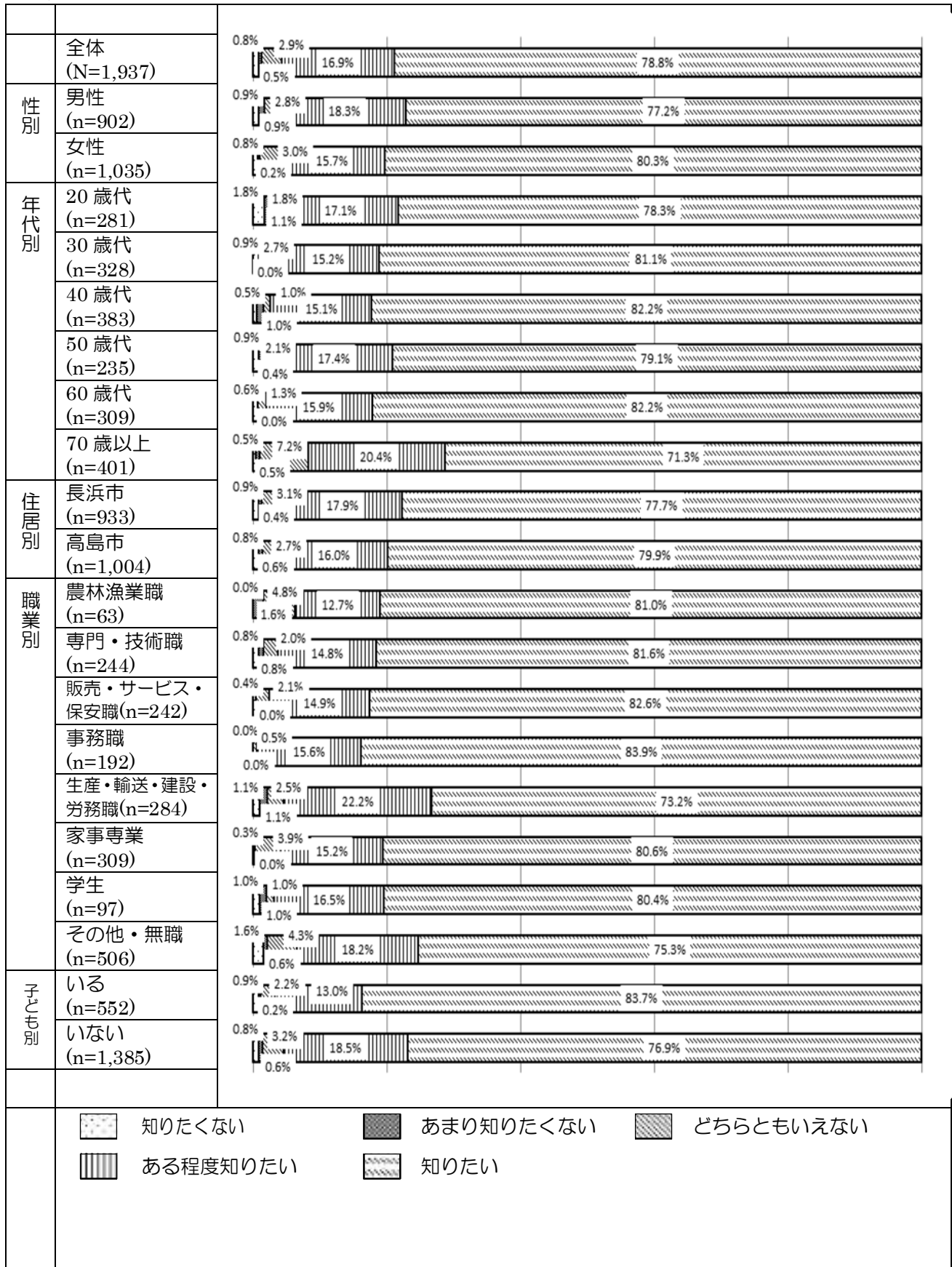
また、「知りたい」を見ると②避難等に関する指示や勧告が78.8%と最も高くなっている。



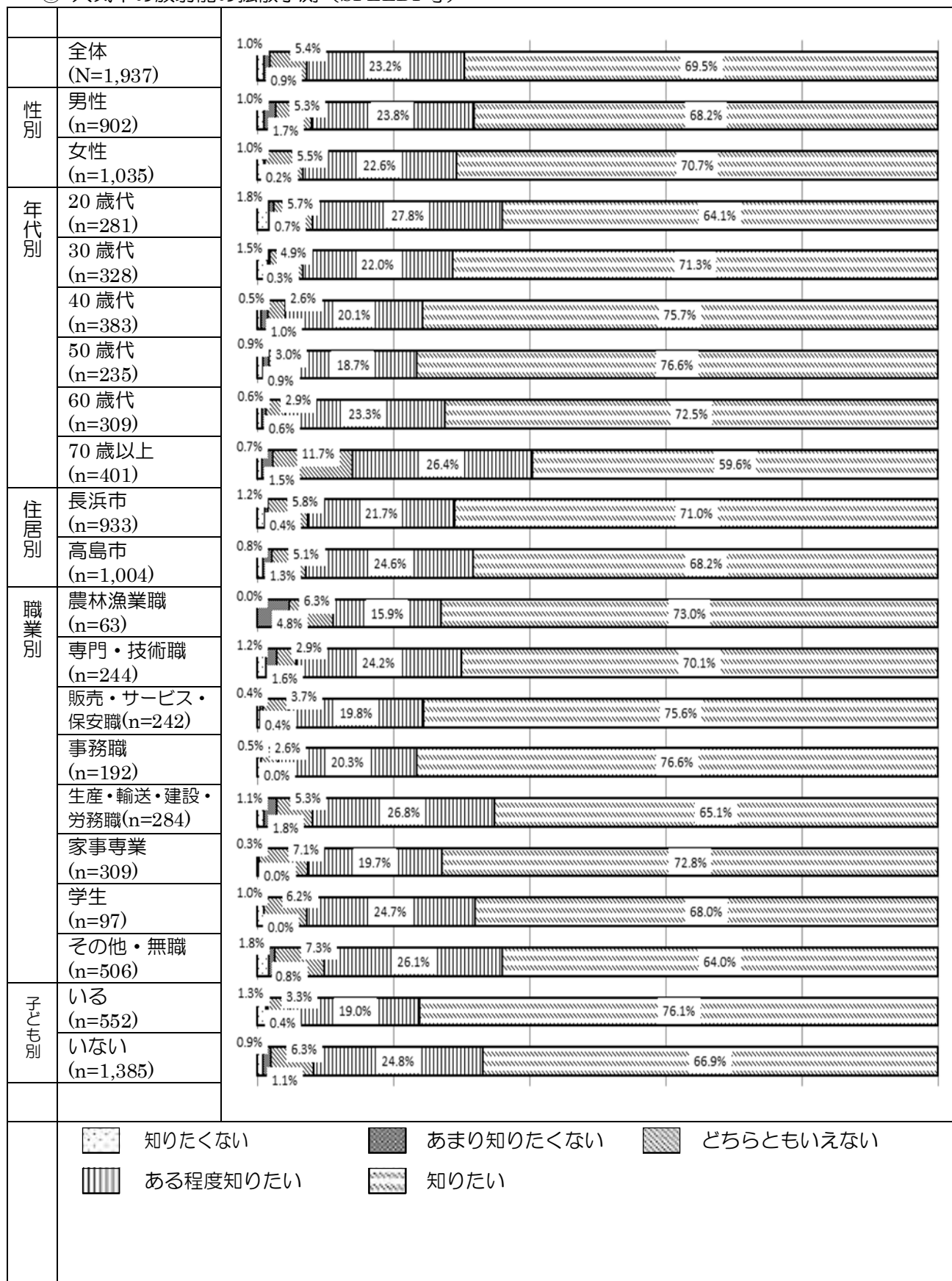
① 事故を起こした原子力発電所の状況



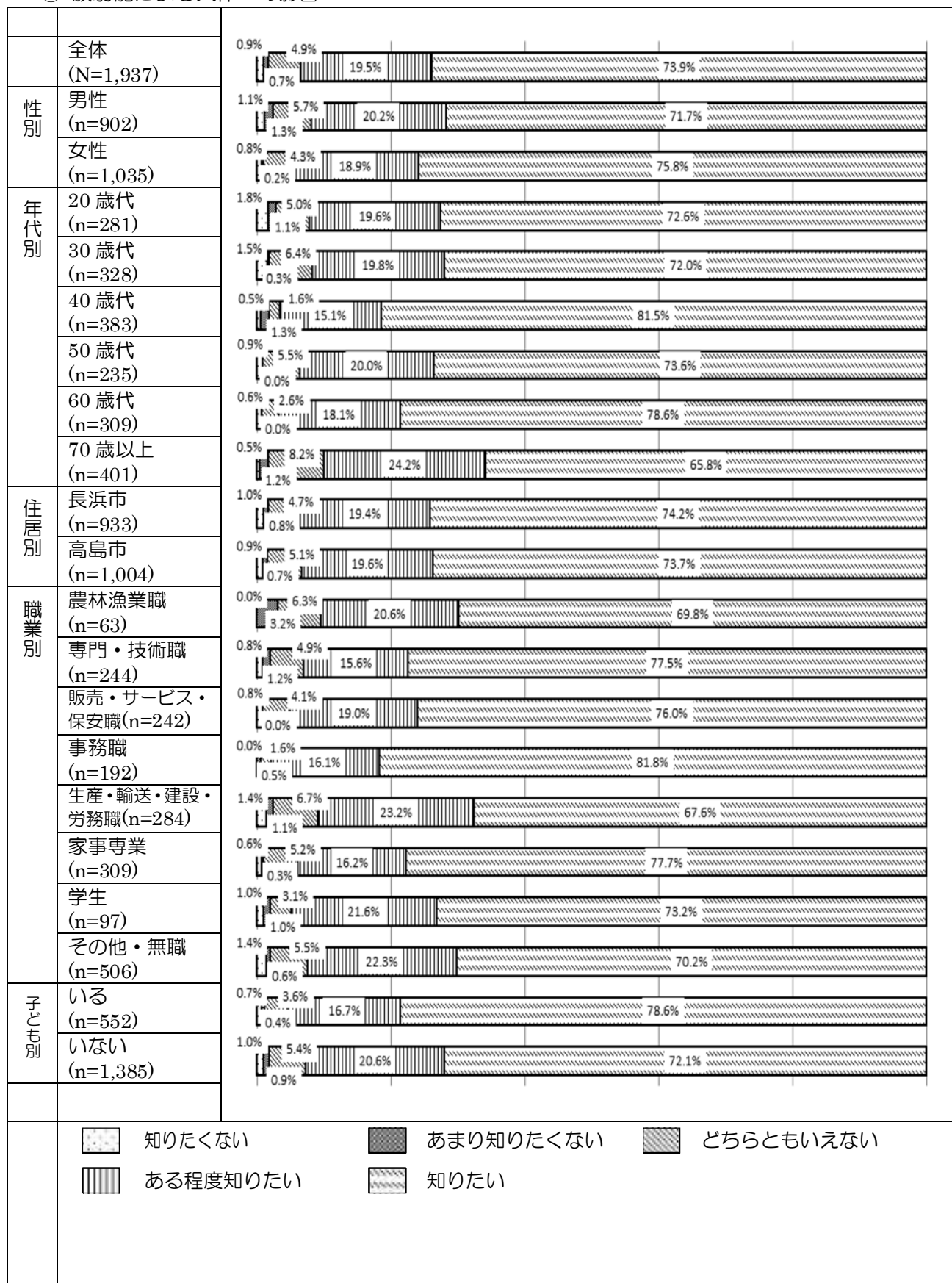
② 避難等に関する指示や勧告



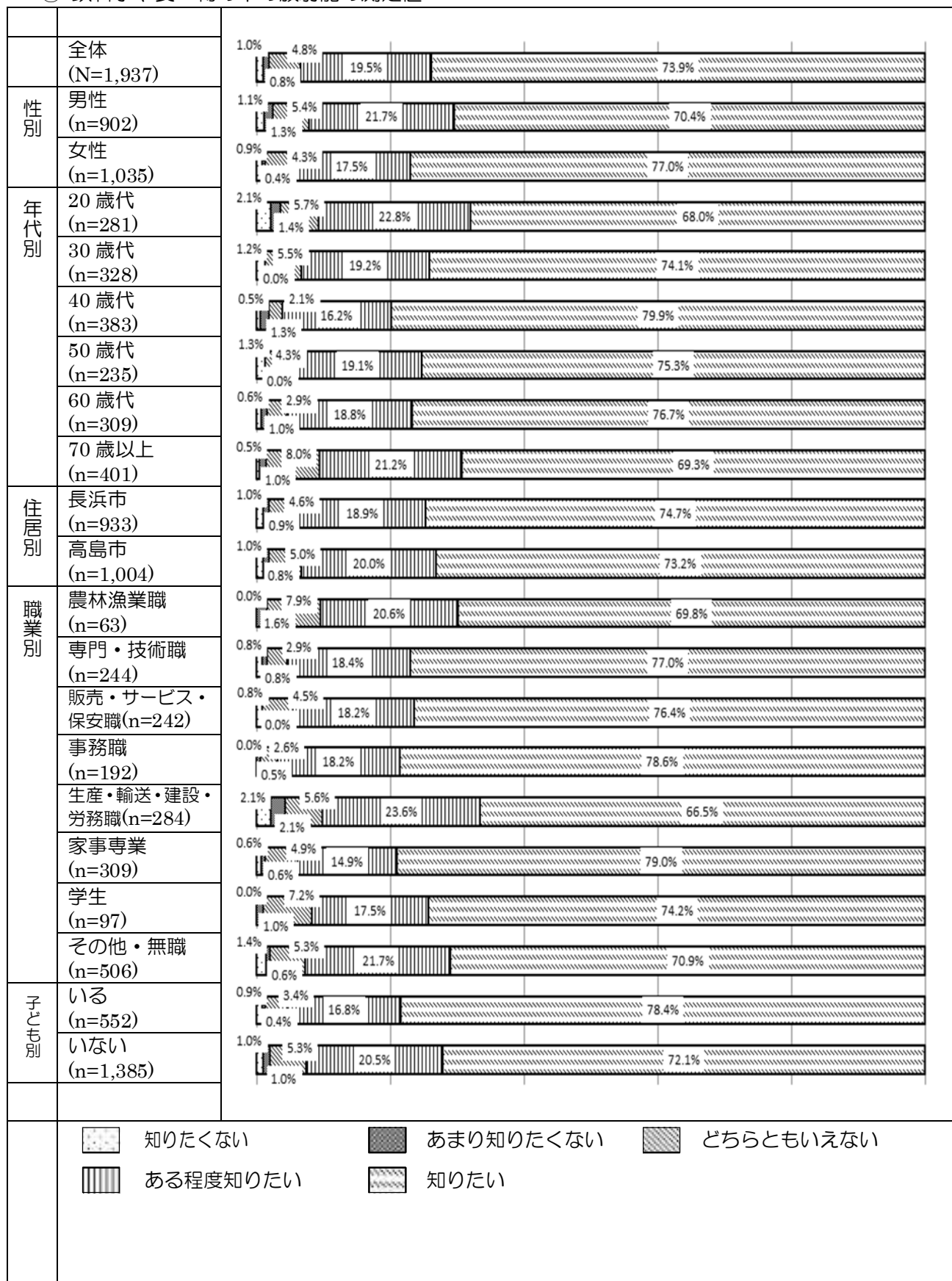
③ 大気中の放射能の拡散予測（SPEEDI 等）



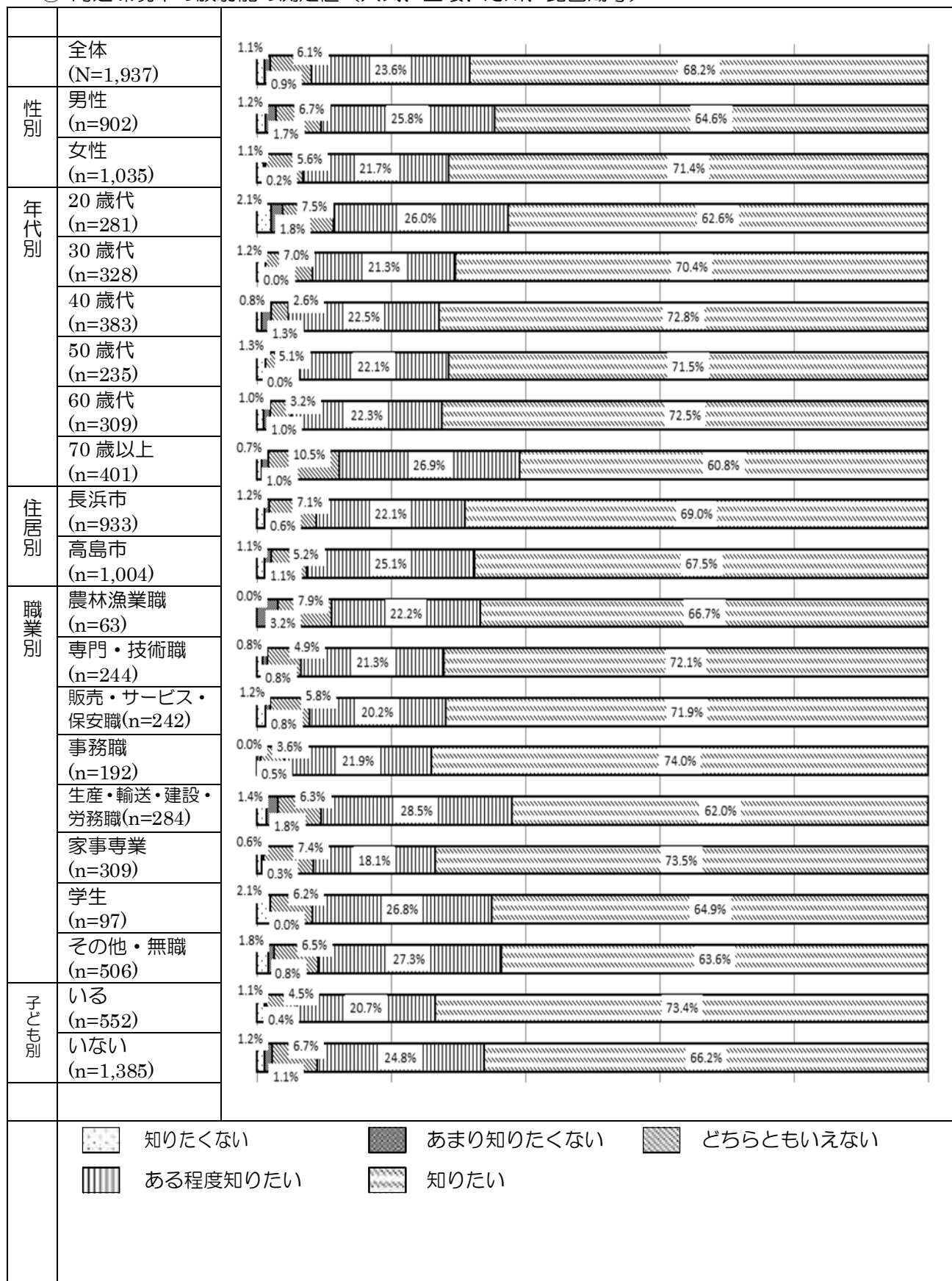
④ 放射能による人体への影響



⑤ 飲料水や食べ物の中の放射能の測定値



⑥ 周辺環境中の放射能の測定値（大気、土壌、河川、琵琶湖等）



#### (4)情報の「正確性」と「迅速性」について

問 3-4 万一原子力災害が発生し、行政が情報を発信する場合、あなたは、「正確性」と「迅速性」のどちらを優先して情報を発信すべきと考えますか。(〇は1つだけ)

##### 【全体】

全体で見ると、「正確性を重視する」が 41.9%で最も高く、次いで「迅速性を重視する」が 35.3%となっている。

##### 【性別】

男女別に見ると、男性は「正確性を重視する」が 39.8%、「迅速性を重視する」が 39.5%で、ほぼ同数となっている。女性は「正確性を重視する」が 43.7%、「迅速性を重視する」が 31.6%となっており、「正確性を重視する」の回答割合が多いことがうかがえる。

##### 【年代別】

年代別に見ると、40歳代は「迅速性を重視する」が 42.3%で、「正確性を重視する」の 33.7%を上回っている。その他の年代は「正確性を重視する」が 70歳以上(53.1%)、60歳代(43.7%)、20歳代(41.3%)、50歳代(39.1%)、30歳代(38.4%)で、「迅速性を重視する」を上回っている。特に、70歳以上(53.1%)においては「迅速性を重視する」が 25.7%で、ほぼ倍の回答割合になっている。

##### 【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「正確性を重視する」が 40.6%、「迅速性を重視する」が 33.8%となっている。高島市も「正確性を重視する」が 43.0%、「迅速性を重視する」が 36.7%となっている。両市とも「正確性を重視する」が「迅速性を重視する」を少し上回っている。

##### 【職業別】

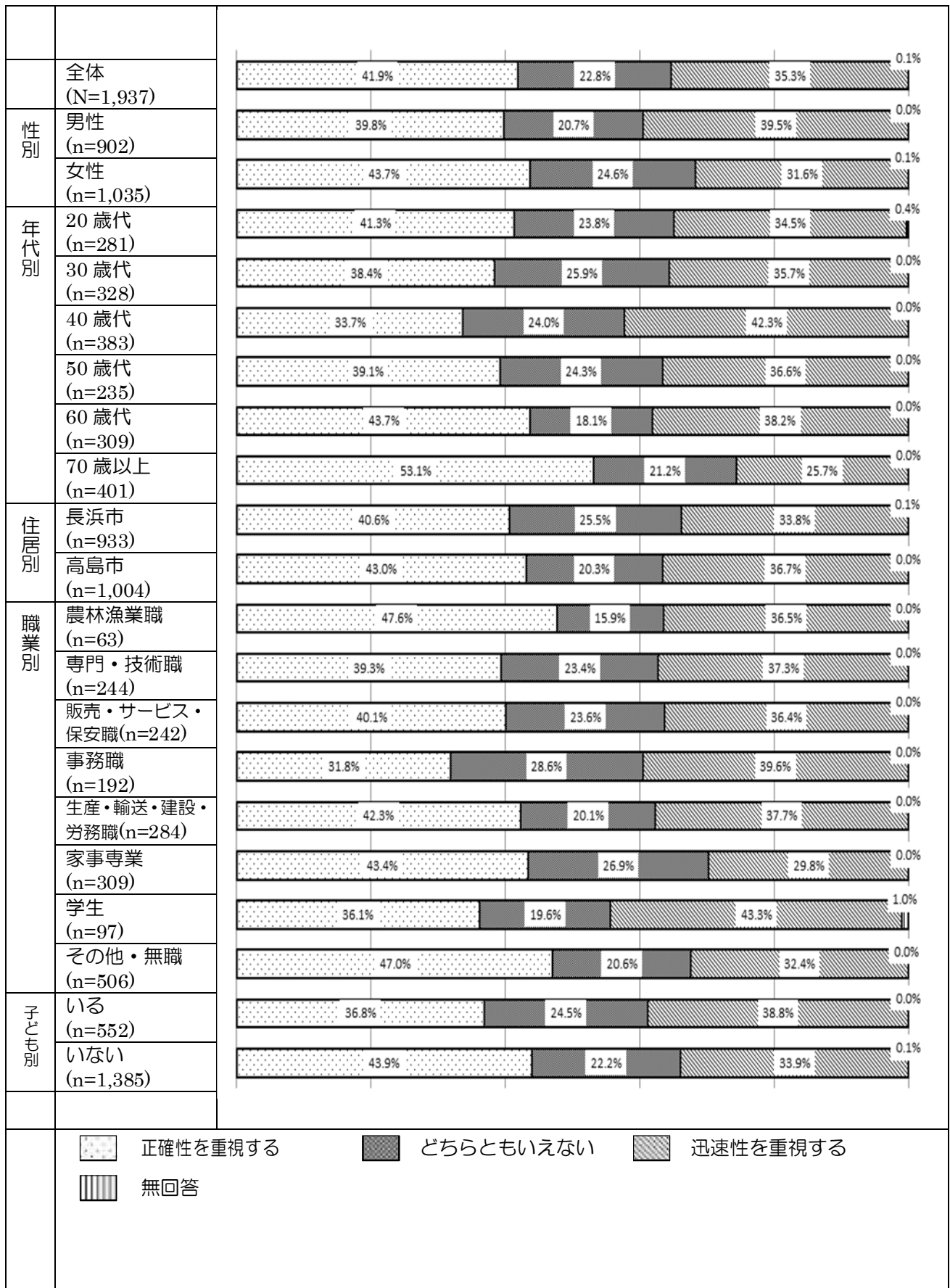
職業別に見ると、学生と事務職が「迅速性を重視する」がそれぞれ 43.3%、39.6%で「正確性を重視する」を上回っている。他の職業は「正確性を重視する」が農林漁業職(47.6%)、その他・無職(47.0%)、家事専業(43.4%)、生産・輸送・建設・労務職(42.3%)、販売・サービス・保安職(40.1%)、専門・技術職(39.3%)で「迅速性を重視する」を上回っている。

##### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「迅速性を重視する」が 38.8%、「正確性を重視する」が 36.8%となっており、「迅速性を重視する」が上回っている。逆に、いない方は「正確性を重視する」が 43.9%で、「迅速性を重視する」が 33.9%となっており、「正確性を重視する」が上回っている。

※「正確性を重視する」、「どちらともいえない」、「迅速性を重視する」を選んだ主な理由は資料に列挙しています。





#### 4. 原子力災害の発生によって気になること

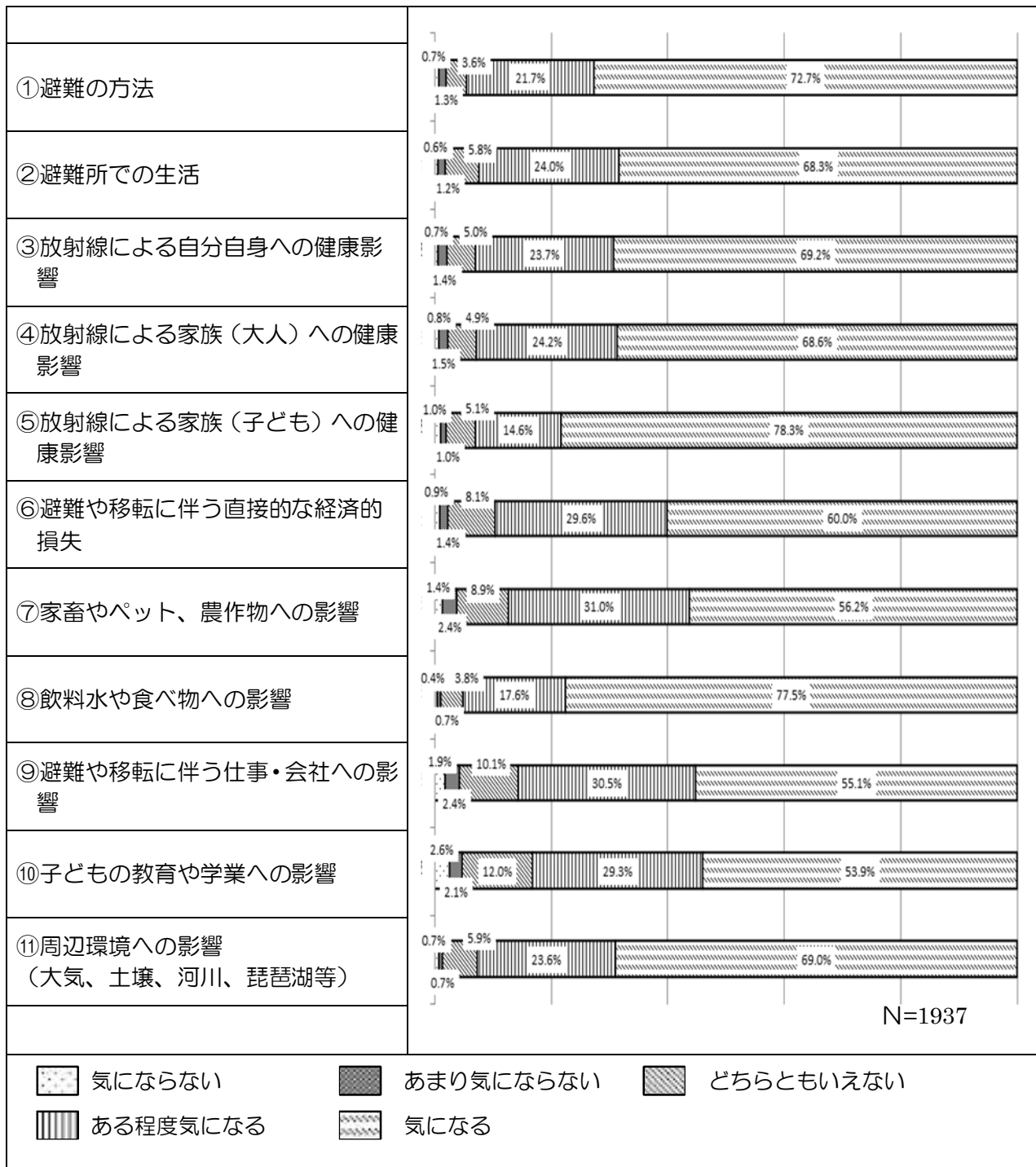
##### (1) 原子力災害が発生した際に気になることについて

問 4-1 万一原子力災害が起こったとしたら、以下の項目についてどう思いますか。（各項目で○は1つだけ）

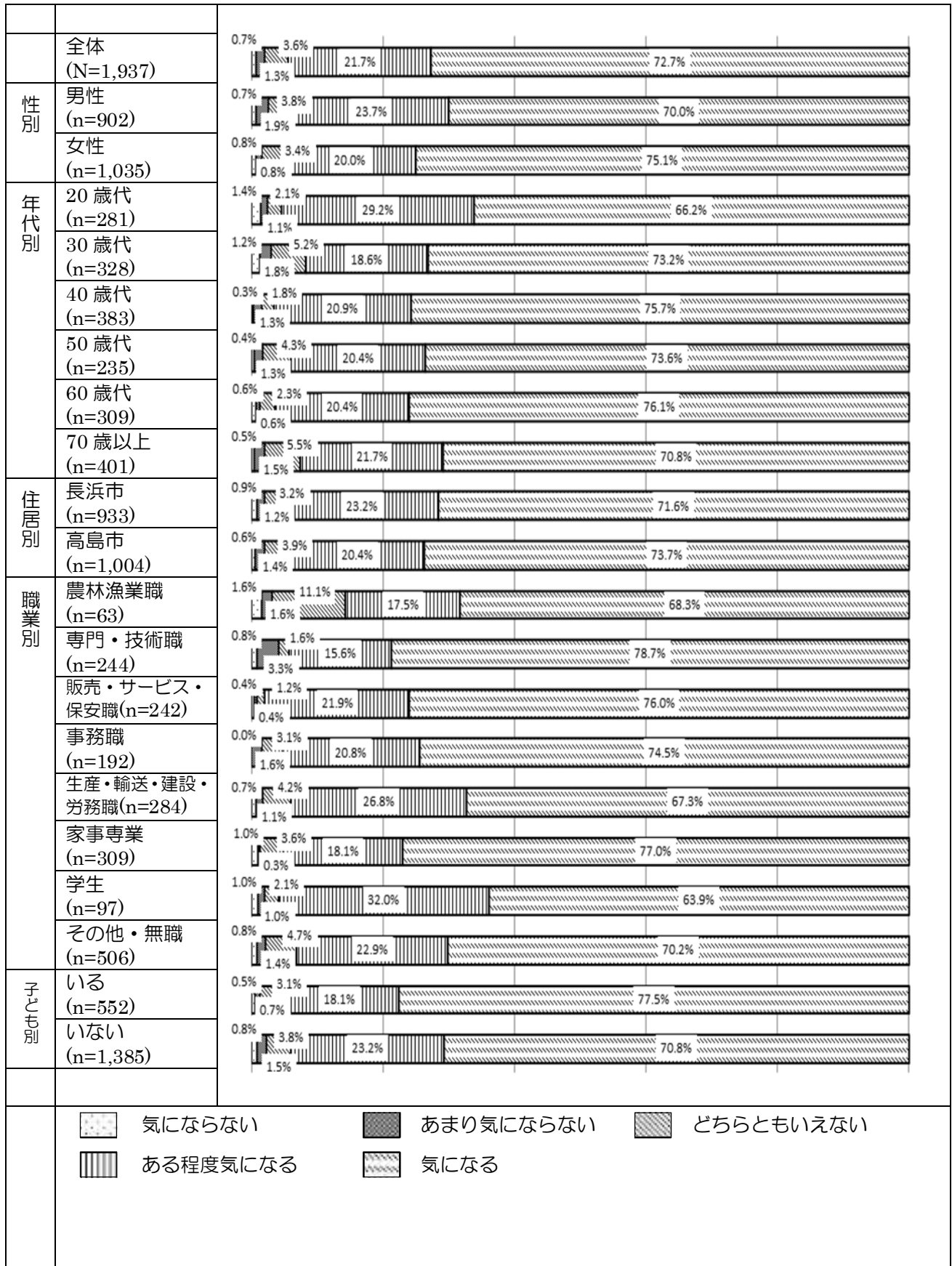
##### 【全体】

万一原子力災害が起こった際に気になること（個別項目）を見ると、各項目とも「気になる」と「ある程度気になる」の合計は8割を超えている。

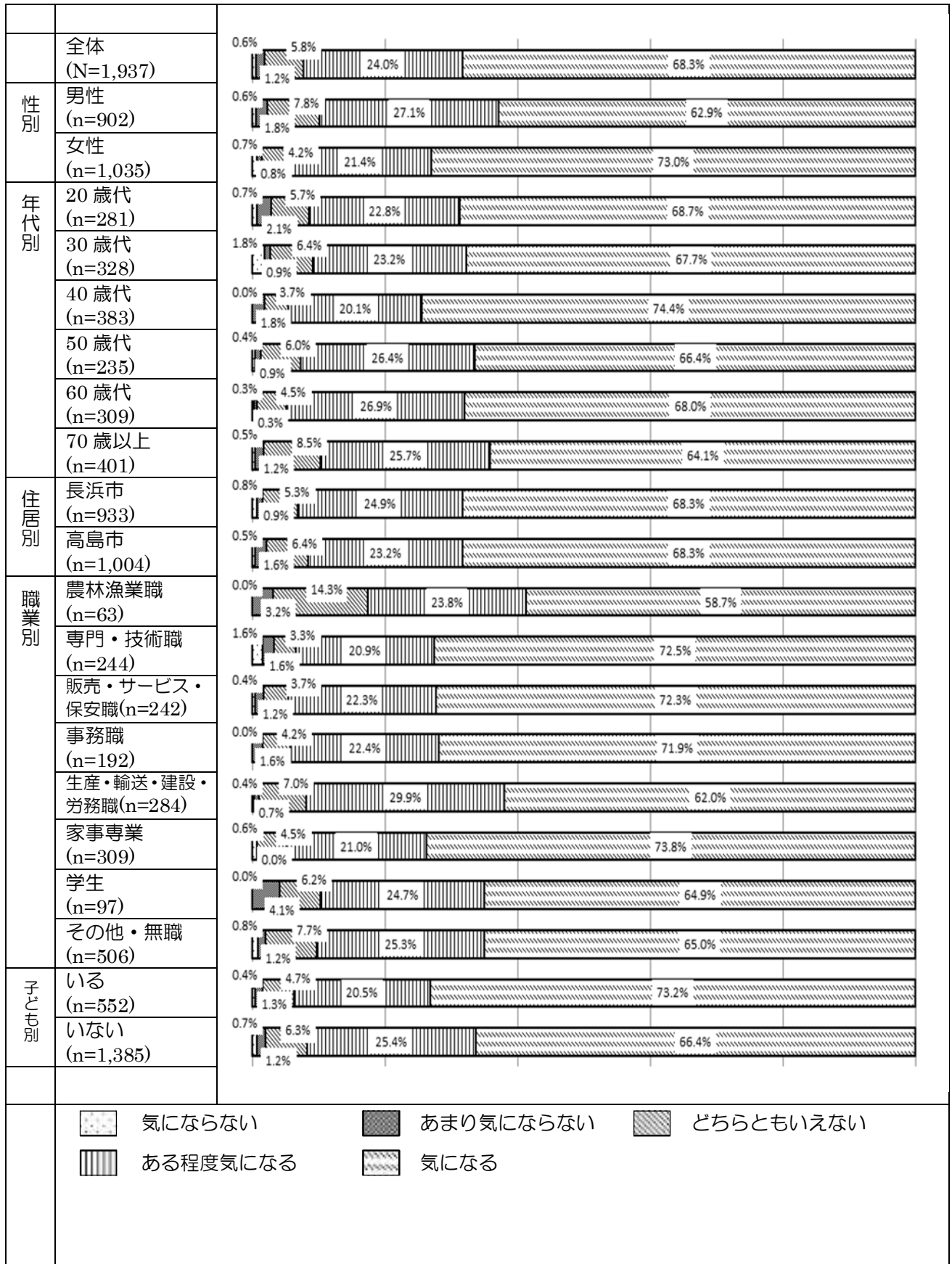
また、「気になる」を見ると、⑤放射線による家族（子ども）への健康影響が78.3%で最も高く、次いで⑧飲料水や食べ物への影響が77.5%、①避難の方法が72.7%と続いている。



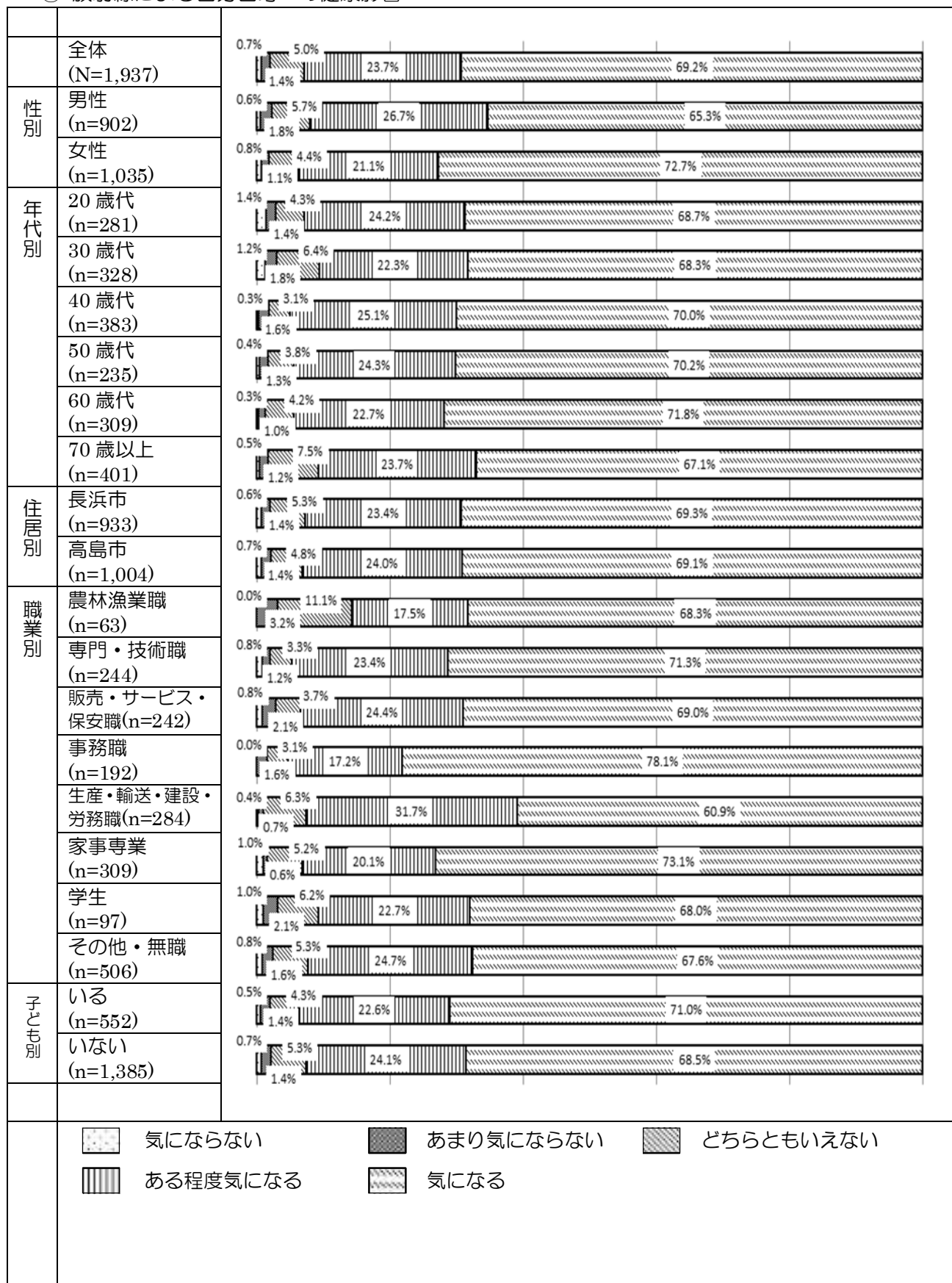
① 避難の方法



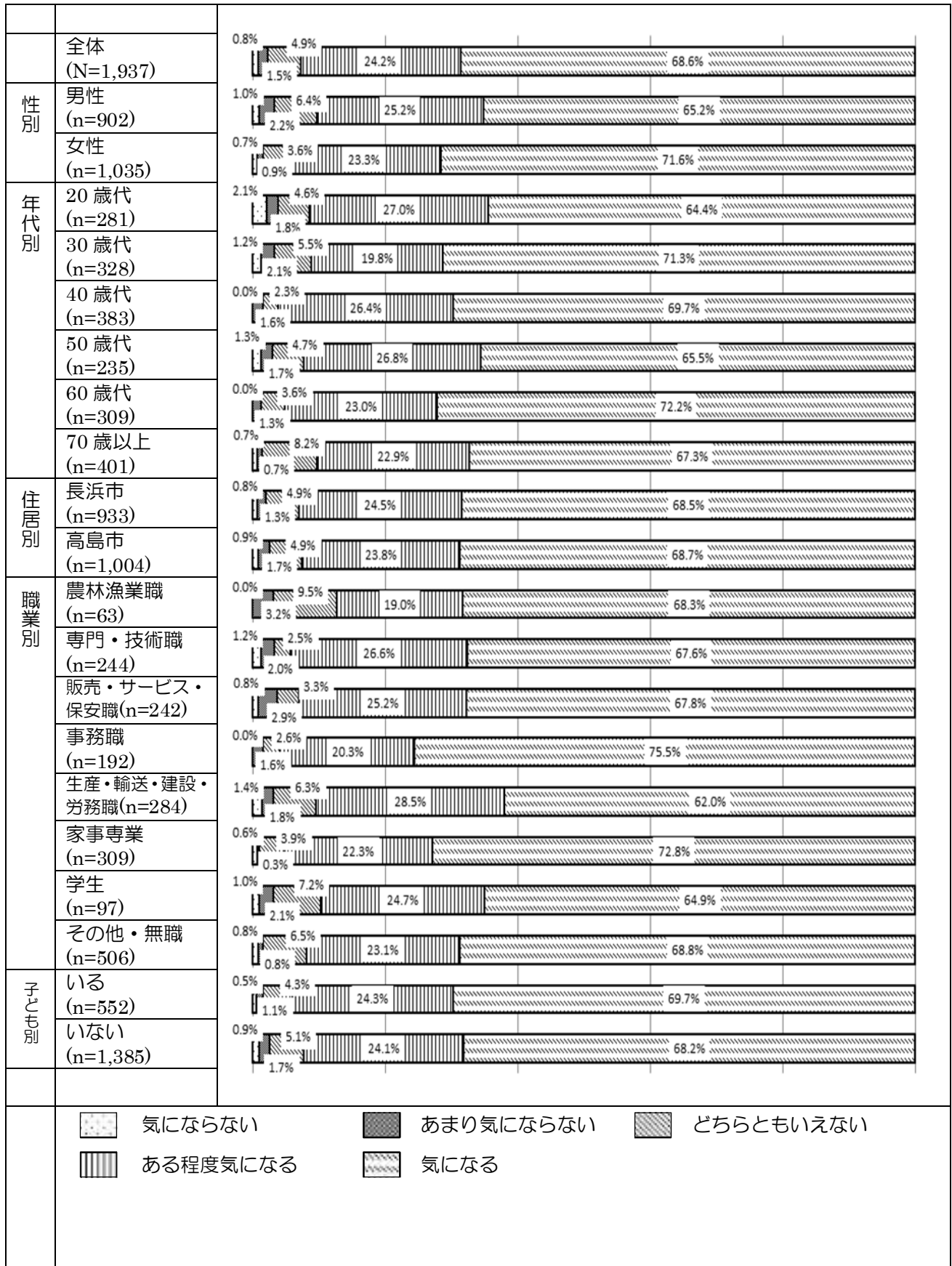
② 避難所での生活



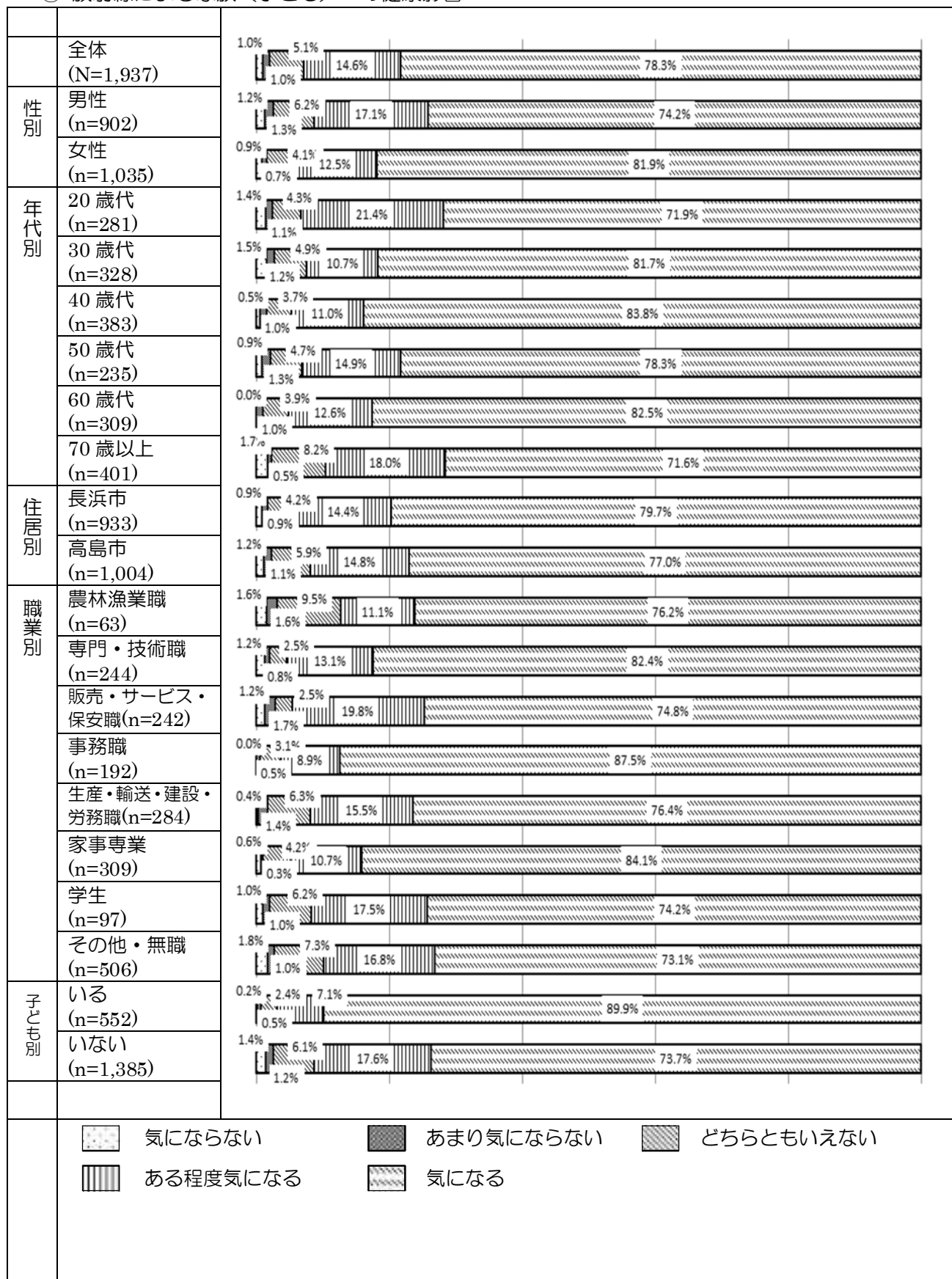
③ 放射線による自分自身への健康影響



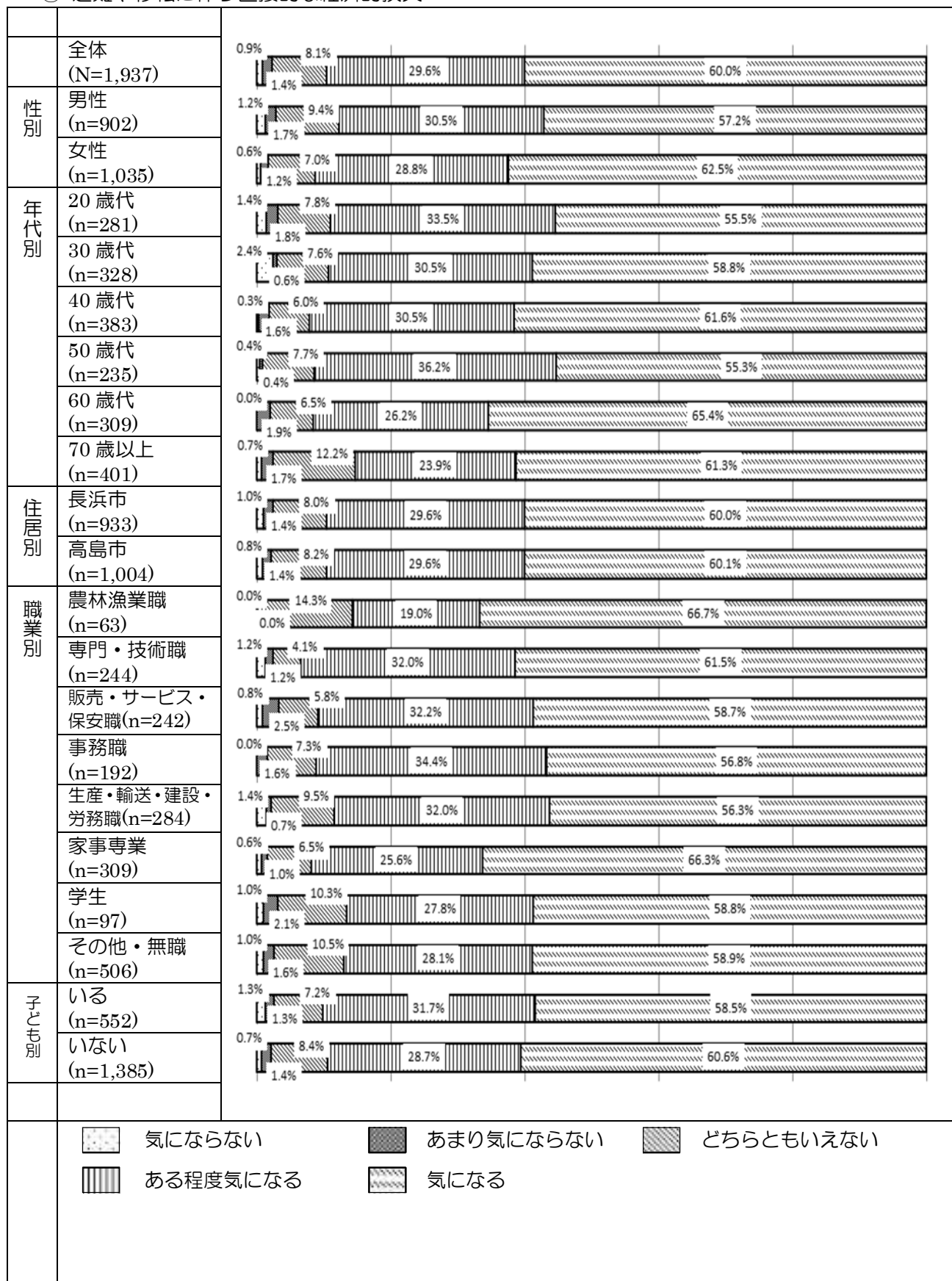
④ 放射線による家族（大人）への健康影響



⑤ 放射線による家族（子ども）への健康影響



⑥ 避難や移転に伴う直接的な経済的損失

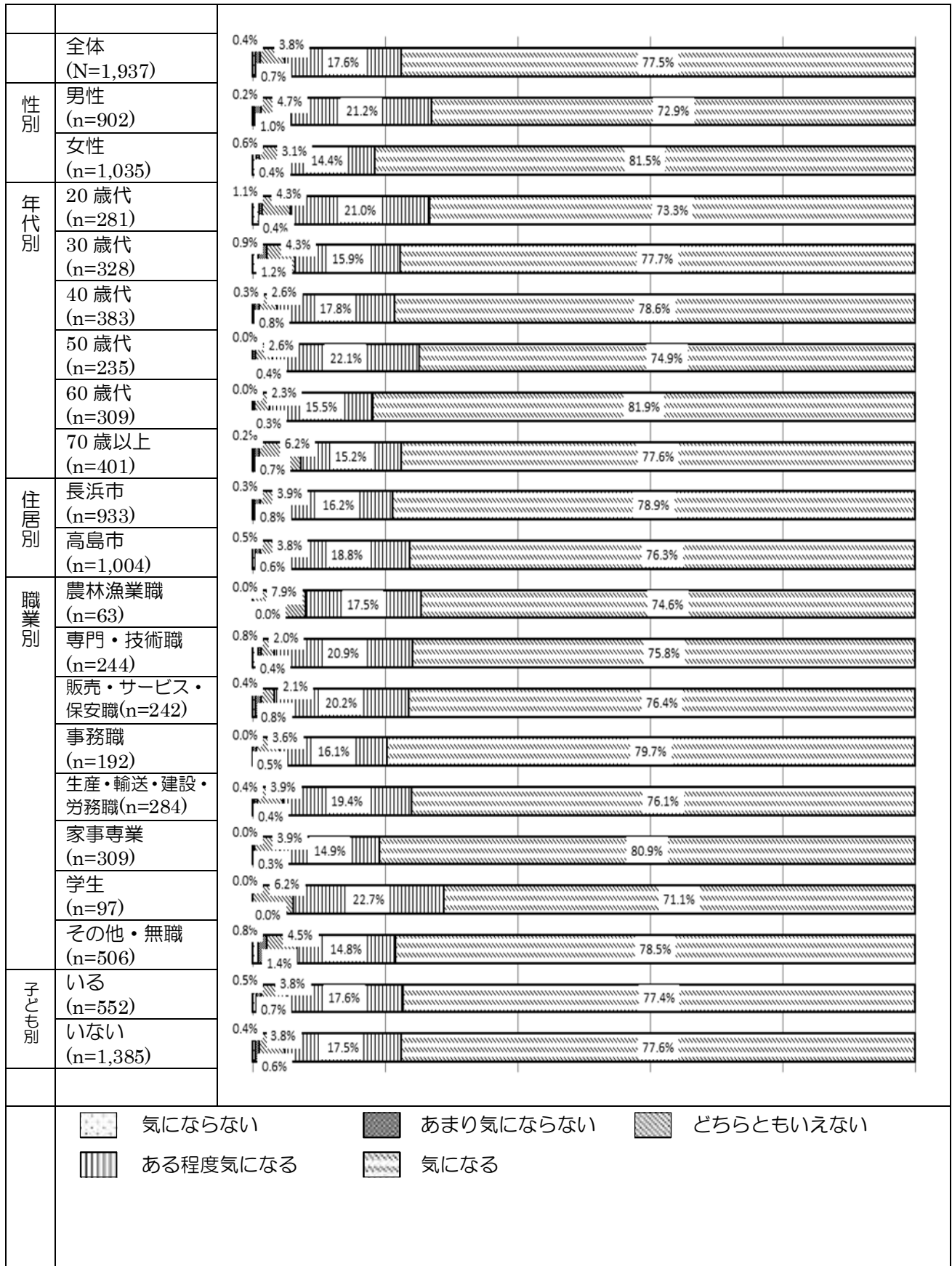




⑦ 家畜やペット、農作物への影響



⑧ 飲料水や食べ物への影響



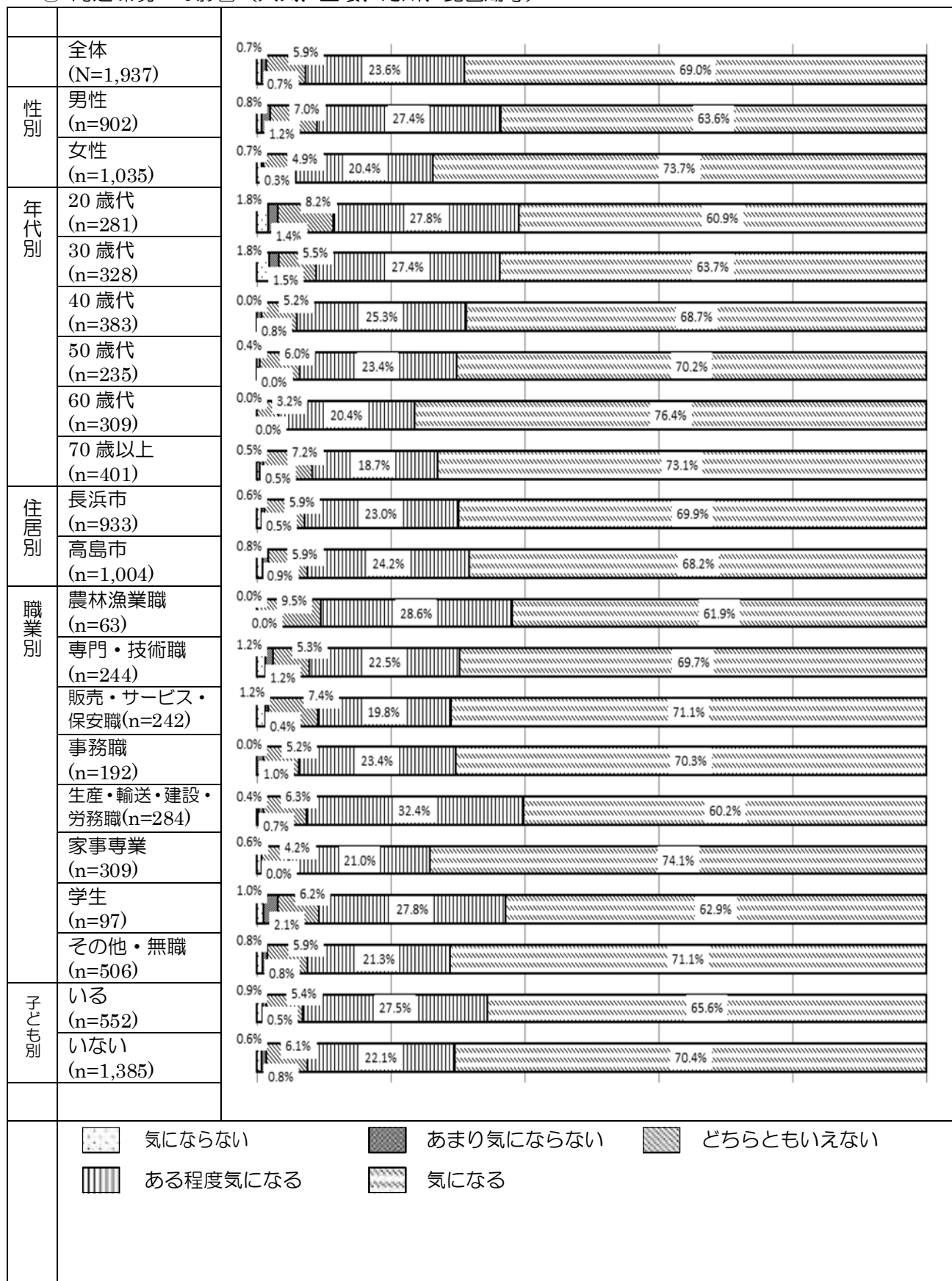
⑨ 避難や移転に伴う仕事・会社への影響



⑩ 子どもの教育や学業への影響



⑪ 周辺環境への影響（大気、土壌、河川、琵琶湖等）



## (2) 飲料水や食べ物の放射性物質の基準値について

問 4-2 飲料水や食べ物については、放射性物質の基準値が定められています。あなたは、飲料水や食べ物を食べたり飲んだりするのにどの程度まで許容できますか。最も近いものに○をつけてください。(○は1つだけ)

### 【全体】

全体で見ると、「基準値以下」が 49.4%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 17.8%となっている。

### 【性別】

男女別に見ると、男性は「基準値以下」が 50.6%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 17.5%となっている。女性も「基準値以下」が 48.4%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 18.0%となっている。男女とも「基準値以下」が約半数を占めている。

### 【年代別】

年代別に見ると、全年代とも「基準値以下」が 50 歳代(57.0%)、70 歳以上(53.4%)、40 歳代(50.1%)、60 歳代 (49.8%)、30 歳代 (47.3%)、20 歳代 (38.4%) で最も高くなっている。20 歳代と 40 歳代を除き「基準値の半分以下」が 60 歳代 (22.3%)、30 歳代 (18.6%)、70 歳以上 (16.5%)、50 歳代 (14.9%) で続いている。なお、20 歳代は「わからない」が 19.9%、40 歳代は「数値が0」が 18.8%で2番目となっている。

### 【住居別】

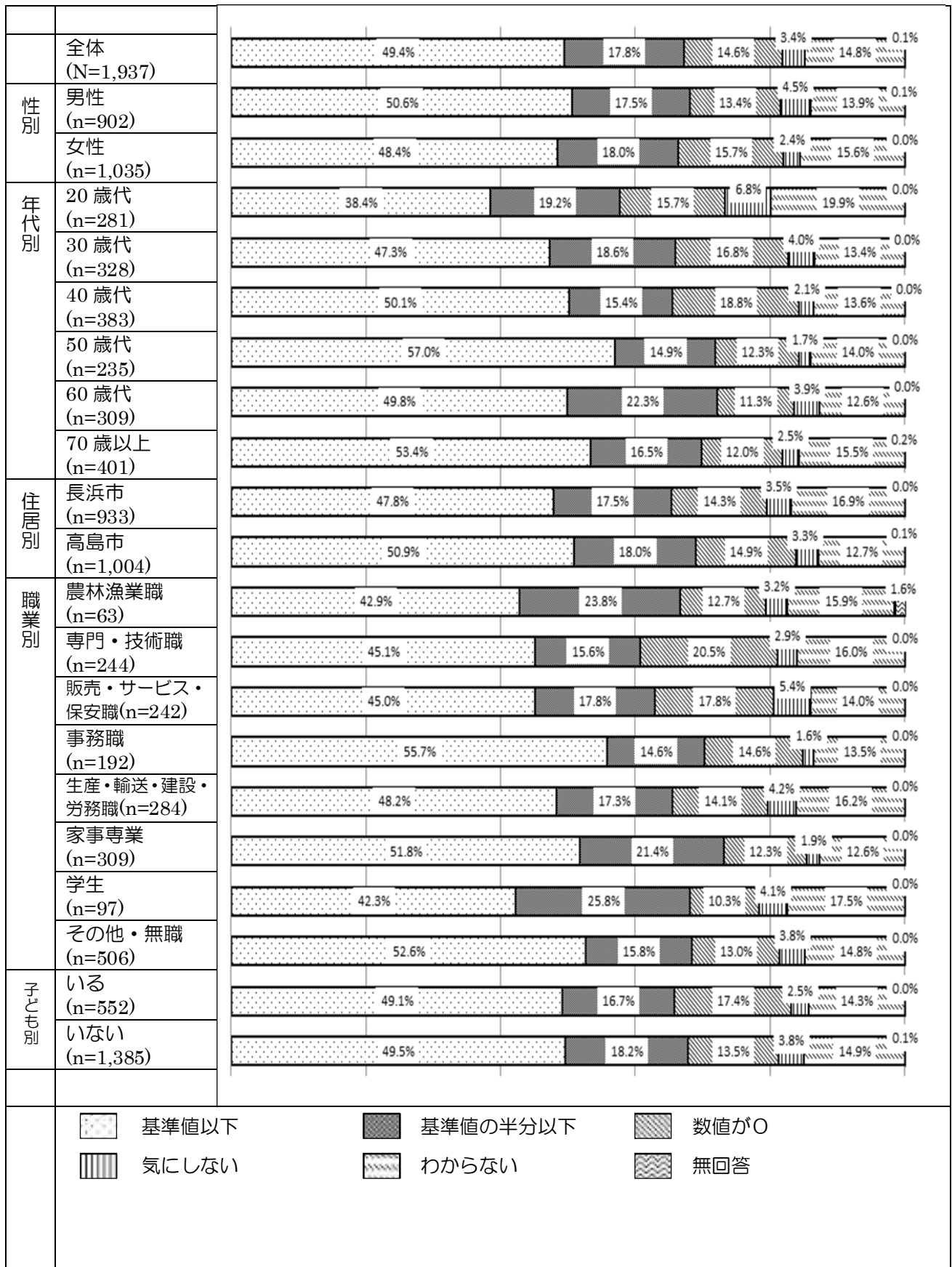
住居別に見ると、長浜市は「基準値以下」が 47.8%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 17.5%となっている。高島市も「基準値以下」が 50.9%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 18.0%となっている。

### 【職業別】

職業別に見ると、全職業とも「基準値以下」が事務職 (55.7%)、その他・無職 (52.6%)、家事専業 (51.8%)、生産・輸送・建設・労務職 (48.2%)、専門・技術職 (45.1%)、販売・サービス・保安職 (45.0%)、農林漁業職 (42.9%)、学生 (42.3%) で最も高く、専門・技術職、販売・サービス・保安職、事務職を除き「基準値の半分以下」が学生(25.8%)、農林漁業職(23.8%)、家事専業(21.4%)、生産・輸送・建設・労務職 (17.3%)、その他・無職 (15.8%) で続いている。なお、販売・サービス・保安職と事務職は「基準値の半分以下」と「数値が0」がそれぞれ 17.8%と 14.6%で同率2番目となっており、専門・技術職のみ「数値が0」が 20.5%で2番目となっている。

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「基準値以下」が 49.1%で最も高く、次いで「数値が0」が 17.4%となっている。いない方は「基準値以下」が 49.5%で最も高く、次いで「基準値の半分以下」が 18.2%となっている。



## 5. 情報共有の仕組みや活動に関する興味・関心

### (1) 原子力防災や原子力発電所についての話し合いの有無について

問 5-1 原子力防災や原子力発電所のことについて話し合ったことはありますか。

#### 【全体】

全体で見ると、「ない」が 55.3%で、「ある」が 44.7%となっており、「ない」が「ある」を上回っている。

#### 【性別】

男女別に見ると、男性は「ない」が 54.8%で、「ある」が 45.2%となっている。女性も「ない」が 55.8%で、「ある」が 44.2%となっている。男女とも「ない」が「ある」を上回っている。

#### 【年代別】

年代別に見ると、60歳代を除き「ない」が20歳代(64.4%)、30歳代(60.4%)、40歳代(56.4%)、70歳以上(54.4%)、50歳代(50.2%)となっており、「ない」が「ある」を上回っている。60歳代のみ「ある」が54.4%となっており、「ある」が「ない」を上回っている。

#### 【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「ない」が 57.8%で、「ある」が 42.2%となっている。高島市も「ない」が 53.1%で、「ある」が 46.9%となっている。両市とも「ない」が「ある」を上回っている。

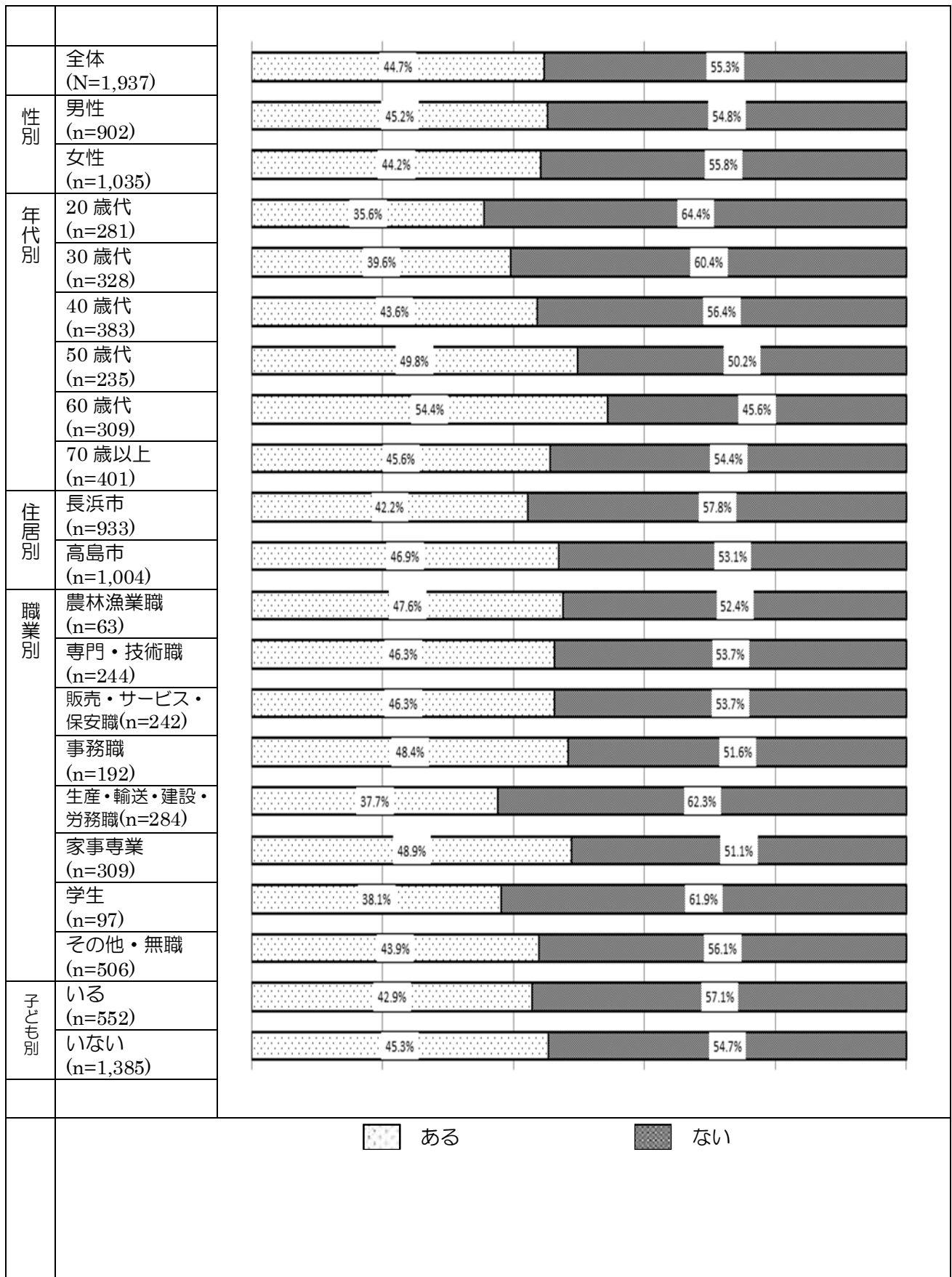
#### 【職業別】

職業別に見ると、全職業とも「ない」が生産・輸送・建設・労務職(62.3%)、学生(61.9%)、その他・無職(56.1%)、販売・サービス・保安職(53.7%)、専門・技術職(53.7%)、農林漁業職(52.4%)、事務職(51.6%)、家事専業(51.1%)となっており、「ない」が「ある」を上回っている。

#### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「ない」が 57.1%で、「ある」が 42.9%となっている。いない方も「ない」が 54.7%で、「ある」が 45.3%となっている。子どもの有無に関係なく「ない」が「ある」を上回っている。





・どのような場で話し合いをしたか

問5-1で「1ある」と回答された方におたずねします。それはどのような場ですか。(〇はいくつでも)

【全体】

全体で見ると、「家庭」が78.7%で最も高く、次いで「友人同士」40.2%、「職場」21.8%、「自治会・町内会」18.4%と続いている。

【性別】

男女別に見ると、男性は「家庭」が70.8%で最も高く、次いで「友人同士」が42.2%となっている。女性も「家庭」が85.8%で最も高く、次いで「友人同士」が38.5%となっている。男女とも「家庭」が他を大きく上回っている。

【年代別】

年代別に見ると、全ての年代で「家庭」が60歳代(86.9%)、40歳代(80.2%)、20歳代(77.0%)、70歳以上(76.5%)、30歳代(75.4%)、50歳代(73.5%)で最も高くなっている。次いで「友人同士」が70歳以上(45.4%)、60歳代(44.6%)、20歳代(44.0%)、30歳代(40.8%)、40歳代(34.1%)となっている。50歳代のみ「友人同士」と「職場」が30.8%で同率の2番目となっている。

【住居別】

住居別に見ると、長浜市は「家庭」が78.7%で最も高く、次いで「友人同士」が37.8%となっている。高島市も「家庭」が78.8%で最も高く、次いで「友人同士」が42.3%となっている。

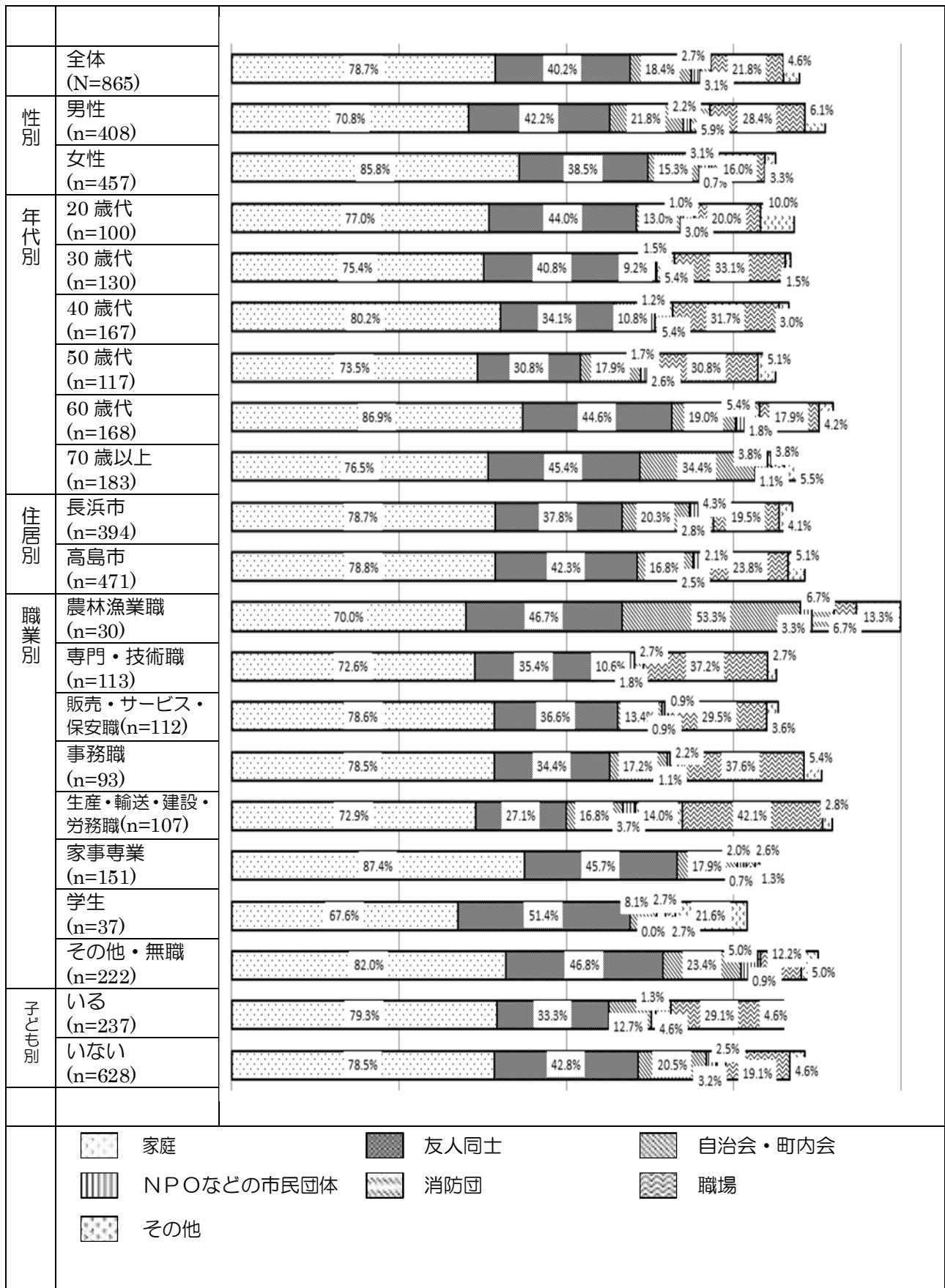
【職業別】

職業別に見ると、全職業とも「家庭」が家事専業(87.4%)、その他・無職(82.0%)、販売・サービス・保安職(78.6%)、事務職(78.5%)、生産・輸送・建設・労務職(72.9%)、専門・技術職(72.6%)、農林漁業職(70.0%)、学生(67.6%)で最も高くなっている。

2番目については、学生(51.4%)、その他・無職(46.8%)、家事専業(45.7%)、販売・サービス・保安職(36.6%)では「友人同士」、生産・輸送・建設・労務職(42.1%)、事務職(37.6%)、専門・技術職(37.2%)では「職場」、農林漁業職(53.3%)では「自治会・町内会」となっている。

【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「家庭」が79.3%で最も高く、次いで「友人同士」が33.3%となっている。いない方も「家庭」が78.5%で最も高く、次いで「友人同士」が42.8%となっている。



※その他の主な意見は、資料を参照してください。

(2) 原子力発電所に関する情報交換の住民参加の必要性について

問 5-2 行政と事業者だけでなく、住民も交えて原子力発電所に関する情報を共有したり、話し合ったりする場が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

【全体】

全体で見ると、「必要がある」が 42.2%で最も高く、次いで「少し必要がある」が 30.1%となっている。「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると 72.3%となり、7割以上の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。

【性別】

男女別に見ると、「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると男性は 72.7%、女性は 72.0%となり、男女とも7割以上の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。

【年代別】

年代別に見ると、「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると60歳代(76.7%)、50歳代(72.8%)、30歳代(72.3%)、40歳代(71.5%)、70歳以上(71.3%)、20歳代(69.8%)となり、年代にかかわらずおおよそ7割の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。

【住居別】

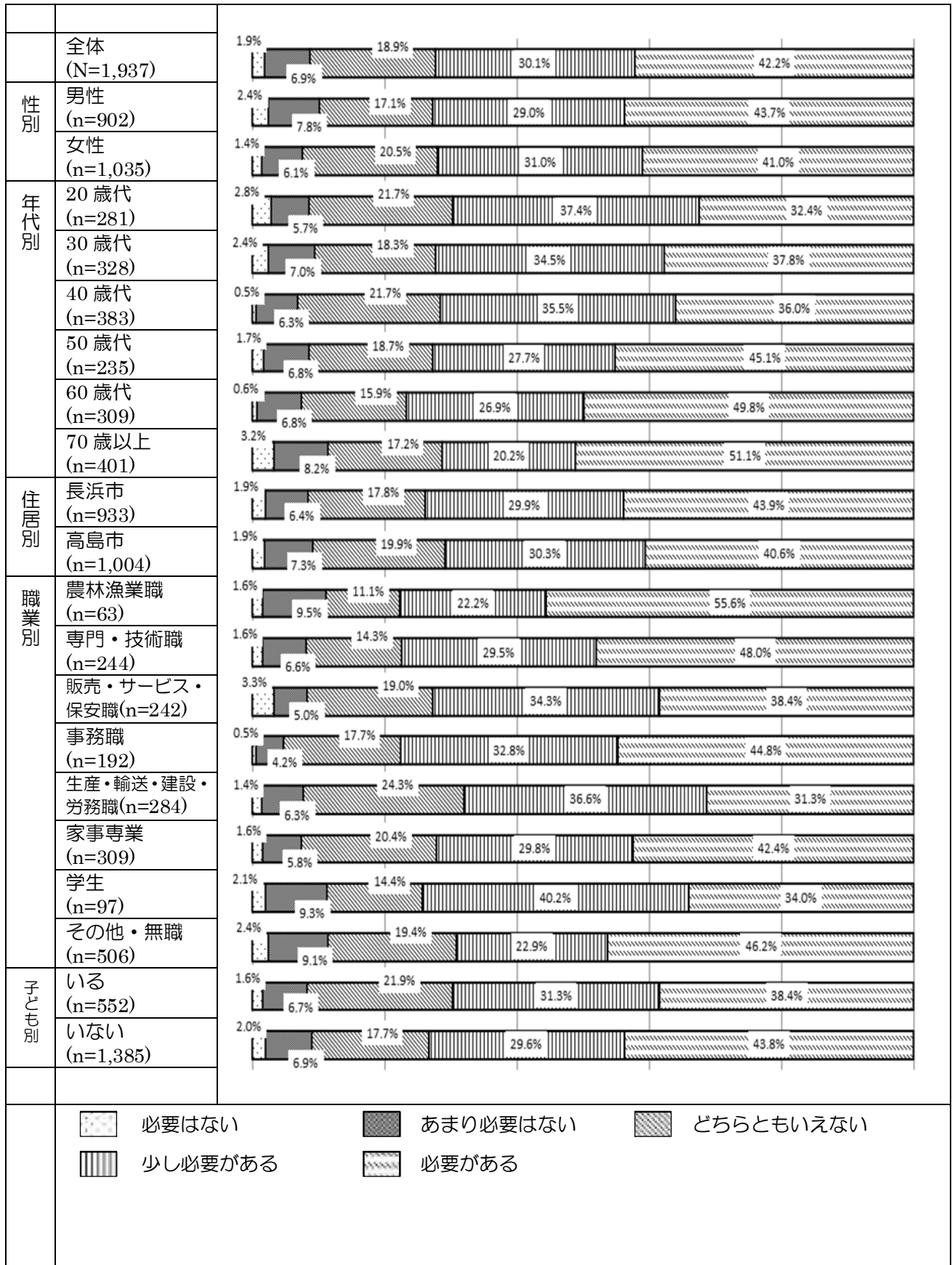
住居別に見ると、「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると長浜市は 73.8%、高島市は 70.9%となり、両市とも7割以上の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。

【職業別】

職業別に見ると、「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると農林漁業職(77.8%)、事務職(77.6%)、専門・技術職(77.5%)、学生(74.2%)、販売・サービス・保安職(72.7%)、家事専業(72.2%)、その他・無職(69.1%)、生産・輸送・建設・労務職(67.9%)となり、職業にかかわらずおおよそ7割の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。

【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、「必要がある」と「少し必要がある」を合わせると子どもがいる方 69.7%、いない方は 73.4%となり、子どもの有無に関係なく7割以上の方が少なからず必要性を認めていることがうかがえる。



### (3)自身の参加意欲について

問 5-3 問 5-2で「どちらともいえない」「少し必要がある」「必要がある」とお答えした方におたずねします。問 5-2に示したような場があった場合、あなたはその場に参加したいですか。(〇は1つだけ)

#### 【全体】

全体で見ると、「どちらかといえば参加したい」が 38.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.0%、「参加したい」が 21.9%となっている。「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると 60.7%となった。

#### 【性別】

男女別に見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると男性は 64.8%、女性は 57.1%となり、男女とも過半数の方が自身の参加を考えている。

#### 【年代別】

年代別に見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると 60 歳代(74.1%)、50 歳代(71.6%) 70 歳以上(68.5%)、30 歳代(54.2%)、40 歳代(51.5%)、20 歳代(46.0%)となっている。

#### 【住居別】

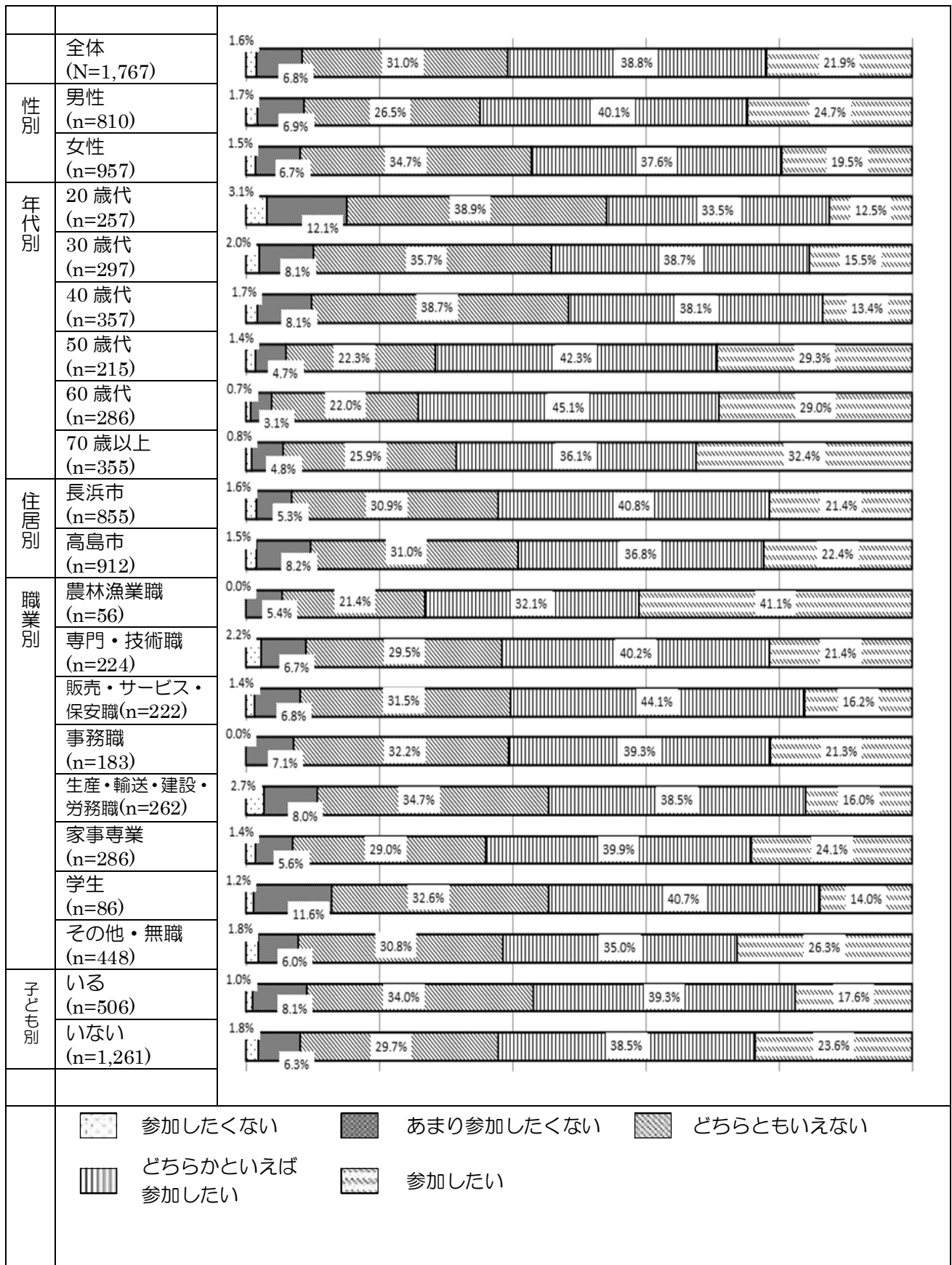
住居別に見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると長浜市は 62.2%、高島市は 59.2%となり、両市とも過半数の方が自身の参加を考えていることがうかがえる。

#### 【職業別】

職業別に見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると農林漁業職(73.2%)、家事専業(64.0%)、専門・技術職(61.6%)、その他・無職(61.3%)、事務職(60.6%)、販売・サービス・保安職(60.3%)、学生(54.7%)、生産・輸送・建設・労務職(54.5%)となっており、職業にかかわらず過半数の方が自身の参加を考えていることがうかがえる。

#### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせると子どもがいる方は 56.9%、いない方は 62.1%となっている。子ども有無に関係なく過半数の方が自身の参加を考えている。



#### (4)情報交換の内容について

問 5-4 問 5-2 で「どちらともいえない」「少し必要がある」「必要がある」とお答えした方におたずねします。問 5-2 に示したような場があった場合、あなたはどのようなことを話し合ったり、行ったりしたいですか。(〇はいくつでも)

##### 【全体】

全体で見ると、「避難経路や避難方法について」が 82.3%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 54.8%、「原子力発電所の安全対策について」が 48.8%となっている。

##### 【性別】

男女別に見ると、男性は「避難経路や避難方法について」が 76.5%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 50.5%となっている。女性も「避難経路や避難方法について」が 87.3%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 58.5%となっている。

##### 【年代別】

年代別に見ると、「避難経路や避難方法について」が 50 歳代 (85.6%)、40 歳代 (84.6%)、60 歳代 (84.3%)、30 歳代 (81.5%)、70 歳以上 (81.1%)、20 歳代 (77.0%) で最も高く、次いで 20 歳代を除き「避難所での生活について」が 30 歳代 (57.9%)、70 歳以上 (57.7%)、40 歳代 (56.9%)、60 歳代 (52.8%)、50 歳代 (50.2%) となっている。20 歳代のみ「原子力発電所の安全対策について」が 51.0%で 2 番目となっている。

##### 【住居別】

住居別で見ると、長浜市は「避難経路や避難方法について」が 82.6%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 55.0%となっている。高島市も「避難経路や避難方法について」が 82.1%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 54.7%となっている。

##### 【職業別】

職業別に見ると、「避難経路や避難方法について」が家事専業 (88.5%)、販売・サービス・保安職 (86.5%)、事務職 (85.8%)、その他・無職 (81.9%)、学生 (79.1%)、専門・技術職 (77.7%)、生産・輸送・建設・労務職 (77.5%)、農林漁業職 (73.2%) で最も高く、次いで「避難所での生活について」が家事専業 (60.1%)、その他・無職 (58.3%)、専門・技術職 (54.0%)、販売・サービス・保安職 (53.6%)、事務職 (53.6%)、生産・輸送・建設・労務職 (50.0%) となっている。学生と農林漁業職は「原子力発電所の安全対策について」がそれぞれ 67.4%と 64.3%で 2 番目となっている。

##### 【子どもの有無別】

子どもの有無別に見ると、子どもがいる方は「避難経路や避難方法について」が 83.2%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 55.9%となっている。いない方も「避難経路や避難方法について」が 82.0%で最も高く、次いで「避難所での生活について」が 54.4%となっている。





## 6. 滋賀県の原子力防災（パンフレット）の講評

### (1)パンフレットの内容について

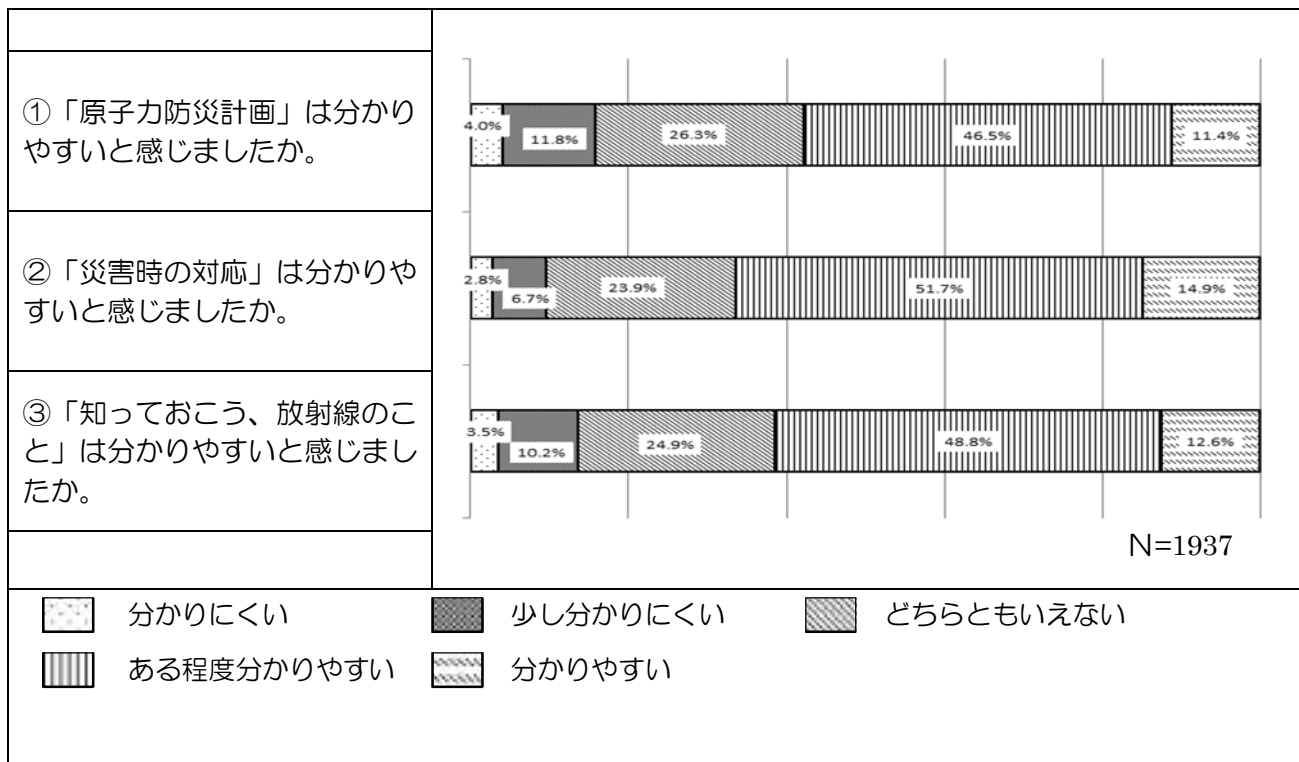
#### 問 6-1

- ① 原子力防災計画（3～6 ページ）の内容は、分かりやすいと感じましたか。
- ② 災害時の対応（7～11 ページ）の内容は、分かりやすいと感じましたか。
- ③ 知っておこう、放射線のこと（12～15 ページ）の内容は、分かりやすいと感じましたか。

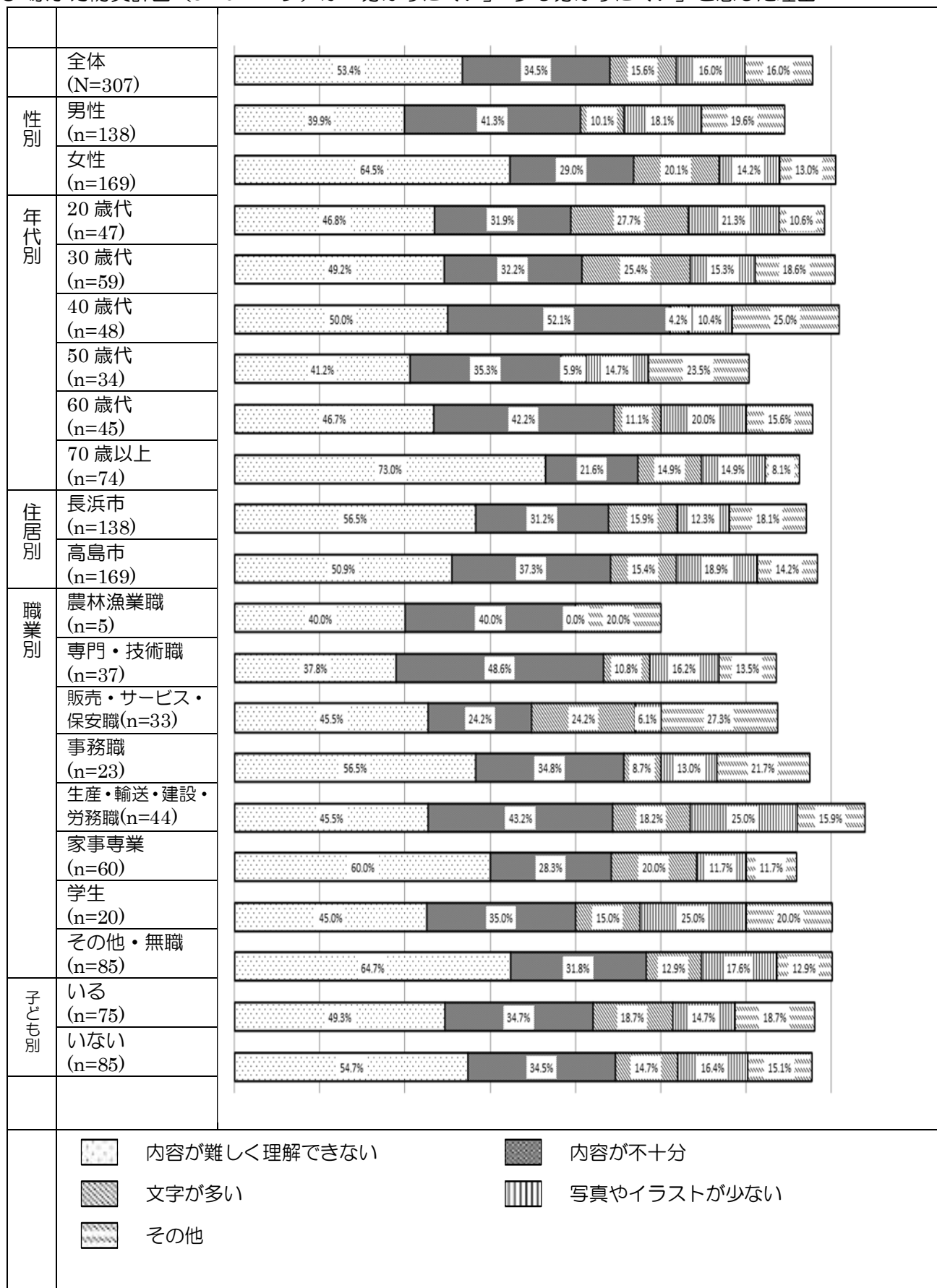
#### 【全体】

問 6-1（①原子力防災計画（3～6 ページ）、②災害時の対応（7～11 ページ）、③知っておこう、放射線のこと（12～15 ページ）の内容は、分かりやすいと感じましたか）の回答を見ると、約6割が「分かりやすい」「ある程度分かりやすい」と回答している。

そこで、「分かりにくい」と「少し分かりにくい」と回答された方を対象に分からない理由を聞くと「内容が難しく理解できない」が最も多く、次いで「内容が不十分」となっている。



○ 原子力防災計画（3～6 ページ）が「分かりにくい」「少し分かりにくい」と感じた理由



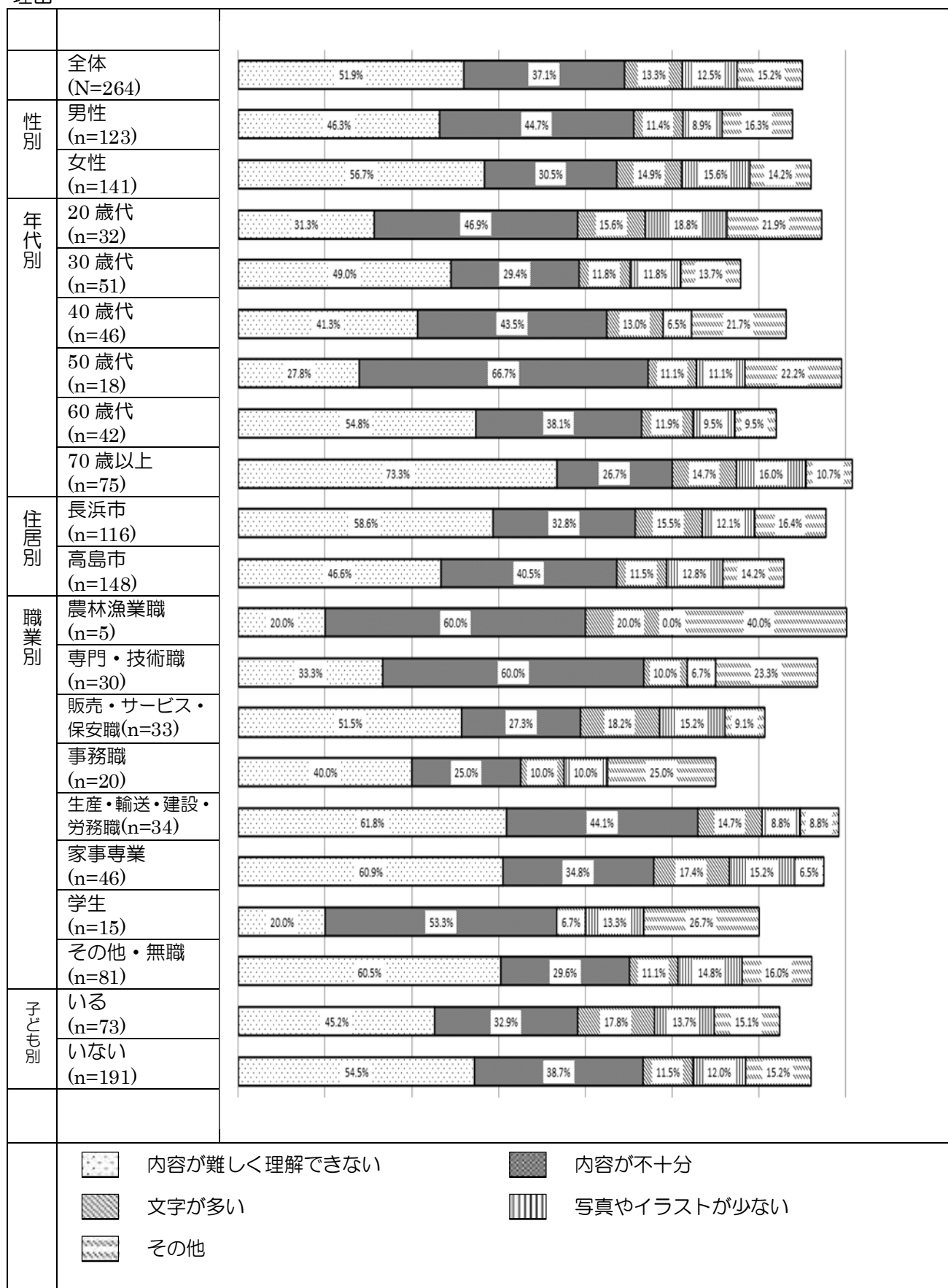
※その他の主な意見は、資料を参照してください。

○ 災害時の対応（7～11 ページ）が「分かりにくい」「少し分かりにくい」と感じた理由



※その他の主な意見は、資料を参照してください。

○ 知っておこう、放射線のこと（12～15 ページ）が「分かりにくい」「少し分かりにくい」と感じた理由



※その他の主な意見は、資料を参照してください。